

JUMP COMICS



# 義演神封

ほうしん

えんぎ

第14部 十絶陣の戦い・上

藤崎 竜





藤 崎 竜

僕<sup>ぼく</sup>の場合<sup>ばあい</sup>、知り<sup>し</sup>あ<sup>あ</sup>った人<sup>ひと</sup>  
 たちを参考<sup>さんこう</sup>にして  
 キャラクターをつ<sup>つく</sup>作<sup>つく</sup>ること  
 が多<sup>おほ</sup>い。  
 出<sup>で</sup>会<sup>あ</sup>いは宝<sup>たから</sup>物<sup>もの</sup>とは  
 よく言<sup>い</sup>ったものです。

● 週刊少年ジャンプ・H10年52号  
 H11年10号掲載分収録



JUMP COMICS



# 封神演義

ほうしんえんぎ

だい 14 部 じゅうぜつじん たなか じょう  
第14部 十絶陣の戦い・上

藤崎 竜

『安能務訳「封神演義」』講談社文庫刊より



★この作品はフィクションです。実在の人物・  
団体・事件などには、いっさい関係ありません。



そ だっ き  
蘇 姐 己

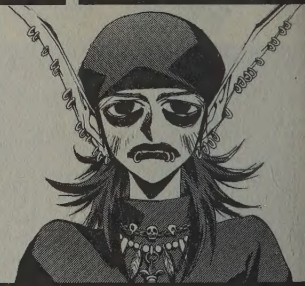


ちゅう おう  
紂 王



ぶん ちゅう  
聞 仲

おう てん くん  
王 天 君



# 前卷までののあらすじ

現代から三千年以上前の古代中国・殷王朝の時代――。

時の皇帝は紂王。絶世の美女・妲己を皇后に迎えて以来、かつての明君は、いまやその面影もなく、フヌケた昏君（ばかとの）となつてしまった。そして、邪心を持つ仙女・妲己によつて牛耳られた殷は、乱れに乱れた。

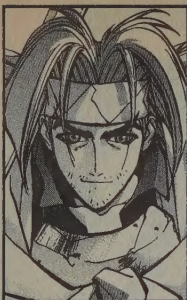
そんな人間界を救うために“封神計画”が実行に移される。それは、悪しき仙人・道士たちを神界に封じこめ、殷に代わり西岐に新王朝をたてさせる計画である。その実行者として選ばれた太公望は、妲己（武王）を次代の王にすべく動きだす。

西岐は『周』と改められ、太公望を軍師に殷へ向け進軍を続ける。そこへ、ついに姿を現した聞仲さらに寶貝兵器通天砲の前に苦戦。だが半妖態の楊戩の力によりバリア解除、通天砲を破壊した!!

# 登場人物 & 霊獣



な たく  
哪 吒



こう ひ こ  
黄 飛 虎



き はつ ぶ おう  
姫 発 (武王)



しん こう ひょう  
申 公 豹



こくてん こ  
黒点虎



ぶ きち  
武 吉



たい こう ぼう  
太公望 (姜子牙)

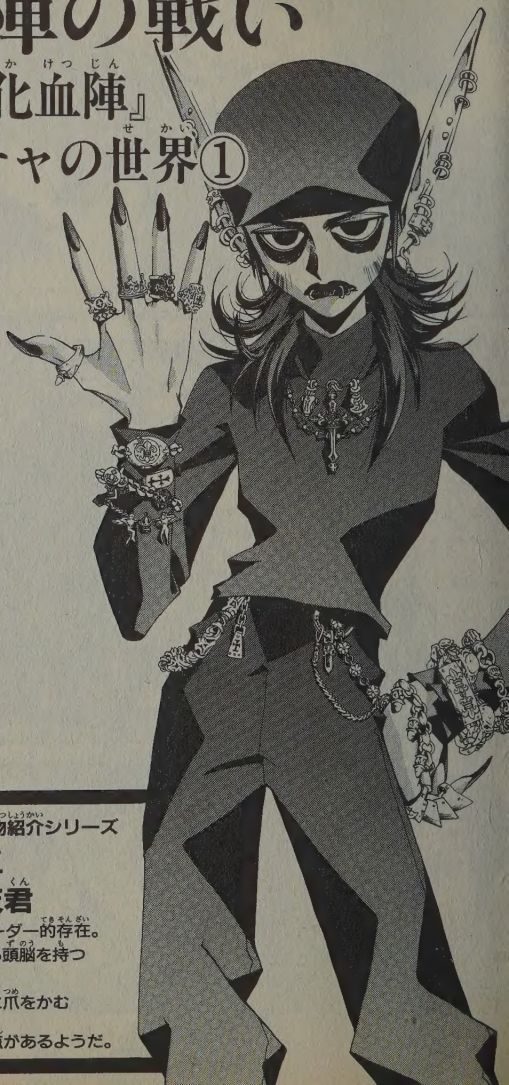
し ぶ しょう  
四不象



じゅう ぜつ じん たたか  
十絶陣の戦い

か けつ じん  
『化血陣』

せ か  
オモチャの世界①



さいきんとうじょう じんぶつしょうかい  
最近登場した人物紹介シリーズ

三

おう てん くん  
王天君

きんごうじゅうてんくん てきせんざい  
金鰐十天君のリーダー的存在。

たいこうぼう ひつてき ずのう  
太公望に匹敵する頭脳を持つ

ダークな仙人。

かんが ごと とき つめ  
考え事をする時に爪をかむ

クセがある。

こうどう よ か かい てん  
行動に不可解な点があるようだ。



ほうしんえんぎ

# 封神演義

だい ぶ じゅうぜっじん たか じょう  
第14部 十絶陣の戦い・上

## CONTENTS

第124回	第123回	第122回	第121回	第120回	第119回	第118回	第117回	第116回
十絶陣の戦い・寒氷陣・ニュートロマンティック	十絶陣の戦い・風吼陣・虫	十絶陣の戦い・風吼陣・INTO THE TORNADO	十絶陣の戦い・紅水陣・玉鼎真人の魂魄・封神台へ	十絶陣の戦い・紅水陣・血の雨	十絶陣の戦い・紅水陣・理解不理解	十絶陣の戦い・化血陣・神経衰弱	十絶陣の戦い・化血陣・オモチヤの世界②	十絶陣の戦い・化血陣・オモチヤの世界①
167	147	127	107	87	67	47	27	7

オレは  
行くとは  
言つてねえ!!!

なに  
何言つてんのよ  
あたしとハニーは  
いっしょに  
一蓮托生!  
それが夫婦道つて  
ものよ!!

あしで  
足手まとい  
だ!

蟬玉!  
土行孫は  
おいてゆけ!

え?

それにな

少しは  
離れてみた方が  
お互いの愛が  
深まるかも……

そう……

そうかしら?

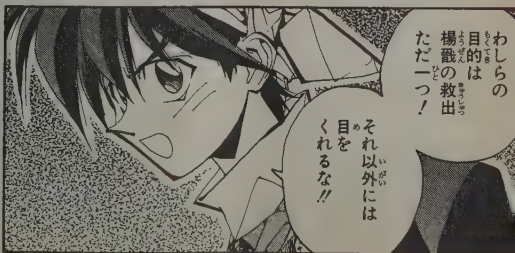
任務のために  
危険な場所に行く  
女……  
それを心配して  
ヤキモキする  
男……

いっ……  
いいわね  
それ……

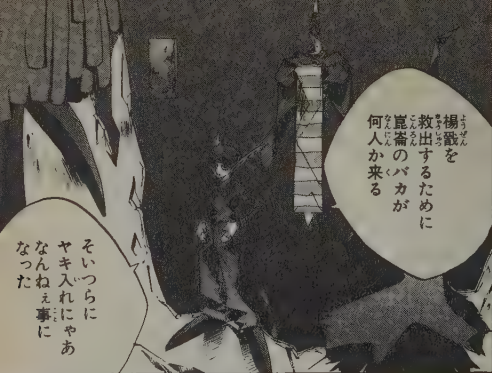
ハニー!  
あたし  
行ってくるわ!!

心配  
してね!!

するか!





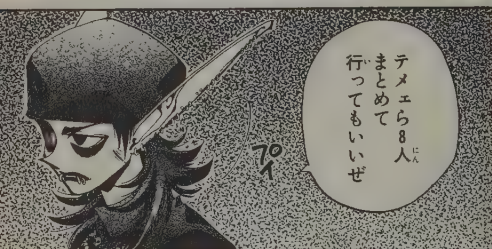


楊戩ようぜんを  
救出きゅうしゅつする  
ために  
崑崙こんろんの  
パカぱかが  
何人なんにんか  
来る

そいつらに  
ヤキ入れにやあ  
なんねえ事  
になった



よお  
テメエら！



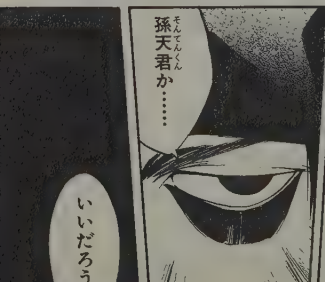
テメエら8人  
まとめて  
行ってもいいぜ

701



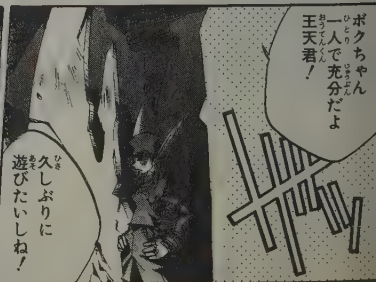
この十天君じゅうてんくんが  
8人はちにんがかり...？

.....



孫天君そんでんくんか.....

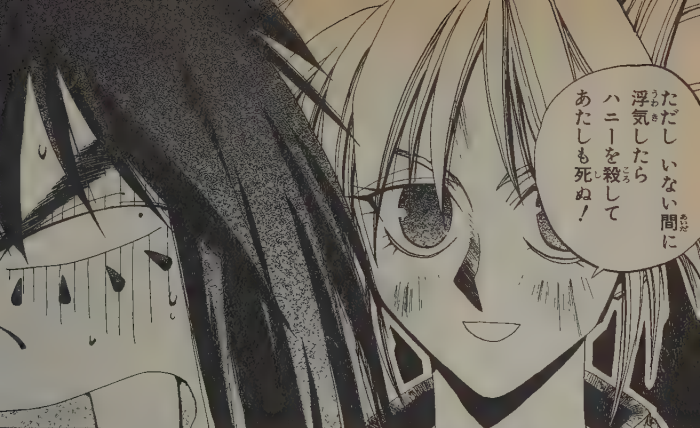
いいだろう



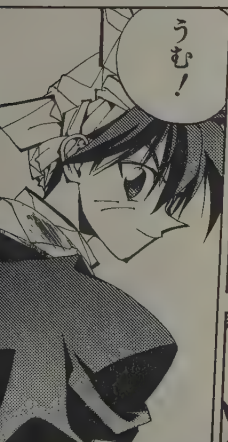
ボクちゃん  
ひとりで充分だよ  
王天君おうてんくん！

久しぶりに  
遊びたいしね！





ただし いな い 間 に  
浮 気 し たら  
ハ ニー を 殺 し て  
あ た し も 死 ぬ !



う む !



あ あ あ  
何 で  
こ ん な 事 に . . .

じ や あ り く わ よ  
太 公 望 ! 四 不 象 !  
玉 鼎 真 人 !

つ い て  
ら っ し や い !!



お 師 匠 さ ま  
お 気 を つ け て  
っ !!





これでは  
通天砲射程距離の  
目測を誤っても  
しょうがないか……



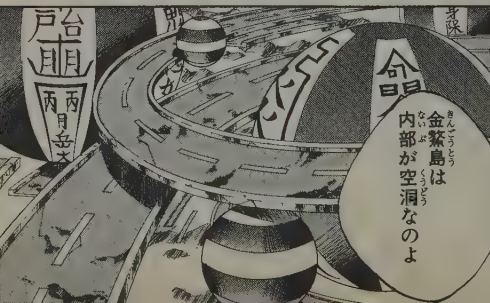
たしかに  
嵐ヶ山よりも  
文明が  
進んでいるな

こんなにも  
差が  
開いていたとは

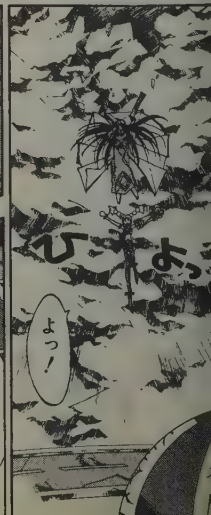


さ  
行くわよ！

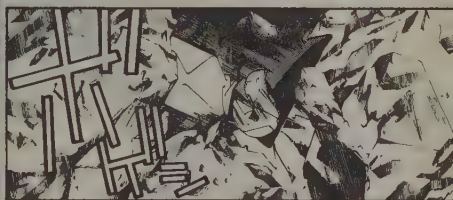
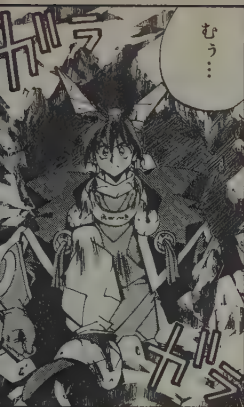
……

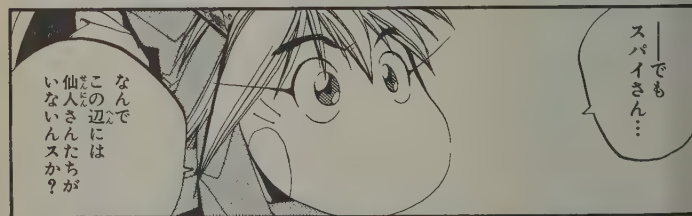
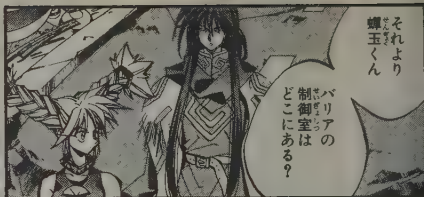
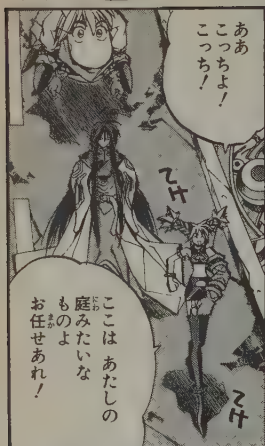


金繁島は  
内部が空洞なのよ



よっ！



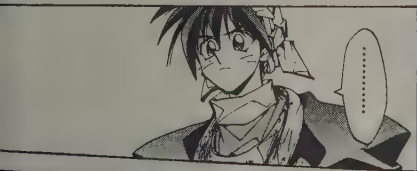




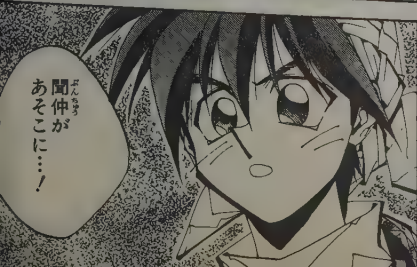


浮<sup>う</sup>いている球<sup>きゅう</sup>体<sup>たい</sup>は  
「星<sup>せい</sup>」とい<sup>い</sup>って  
ま<sup>ま</sup>あ い<sup>い</sup>わ<sup>わ</sup>ば 部<sup>へ</sup>屋<sup>や</sup>ね

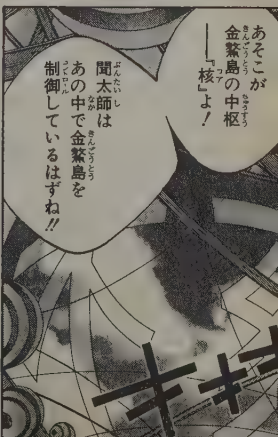
—で  
ず<sup>す</sup>つと下<sup>した</sup>のほうに  
巨<sup>きょ</sup>大<sup>だい</sup>な「星<sup>せい</sup>」が  
あ<sup>あ</sup>るの<sup>の</sup>が  
見<sup>み</sup>えるか<sup>か</sup>な?



.....



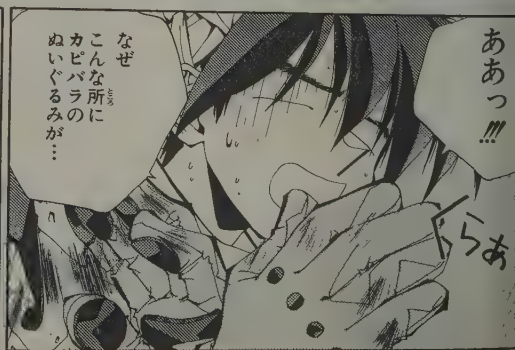
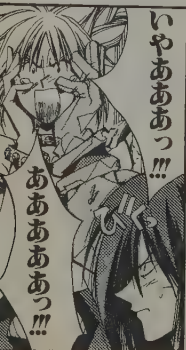
聞<sup>き</sup>仲<sup>ちゆう</sup>が  
あ<sup>あ</sup>そこ<sup>そこ</sup>に...!



あ<sup>あ</sup>そこ<sup>そこ</sup>が  
金<sup>きん</sup>繁<sup>さん</sup>島<sup>とう</sup>の中<sup>なかつ</sup>枢<sup>しゅう</sup>  
「核<sup>かく</sup>」よ!

聞<sup>き</sup>太<sup>たい</sup>師<sup>し</sup>は  
あ<sup>あ</sup>の<sup>の</sup>中<sup>なかつ</sup>で 金<sup>きん</sup>繁<sup>さん</sup>島<sup>とう</sup>を  
制<sup>せい</sup>御<sup>ぎ</sup>して<sup>して</sup>い<sup>い</sup>る<sup>る</sup>は<sup>は</sup>ず<sup>ず</sup>ね!!

キキ



うむ…おそらく  
わしらの侵入は  
気付かれておる

この辺りの  
仙道を引き上げ  
させたのも  
作戦なのだろう

気を  
引き締めねば！

ワナでも何でも  
ザコが  
うじやうじや  
出てこないのは  
好都合よね！

あたしは  
金鰲の人たちと  
戦うのは  
気が進まないもん！

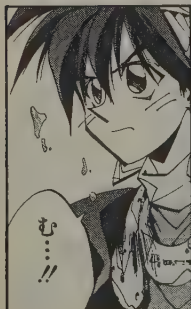
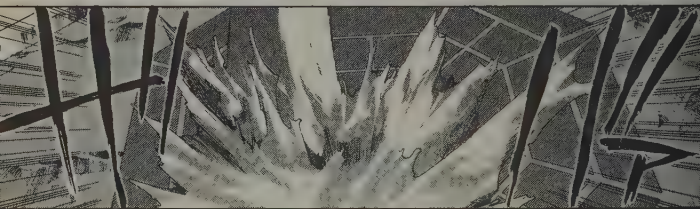
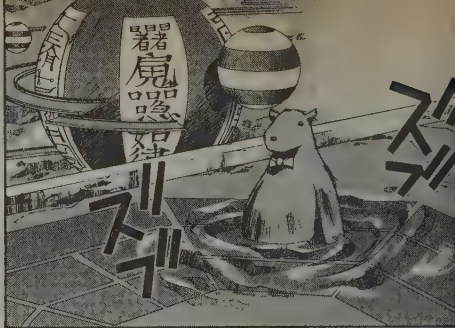
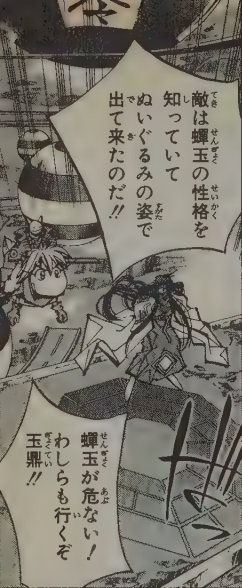
さあ  
レッツ・ドン！！

待て！

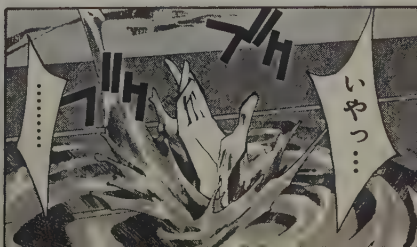
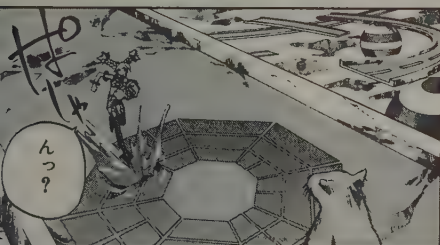
誰か  
いる！

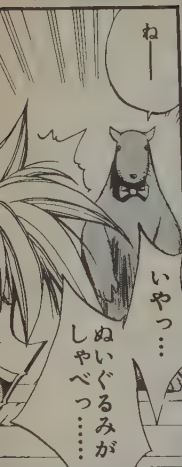
むっ！？

あれは  
……  
……









ねー

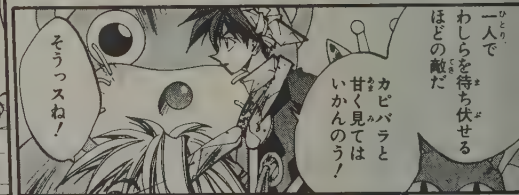
ぬいぐるみが  
しゃべっ……

いやっ……



……何だ  
このメルヘンな  
場所は……？

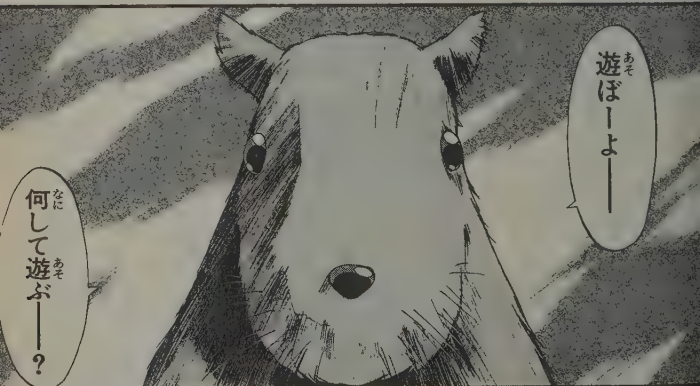
かわいい  
お部屋ね……



そうっスね！

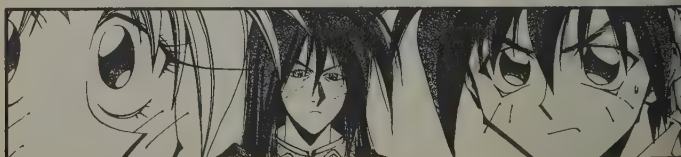
カピバラと  
甘く見ては  
いかなのう！

一人で  
わしらを待ち伏せる  
ほどの敵だ

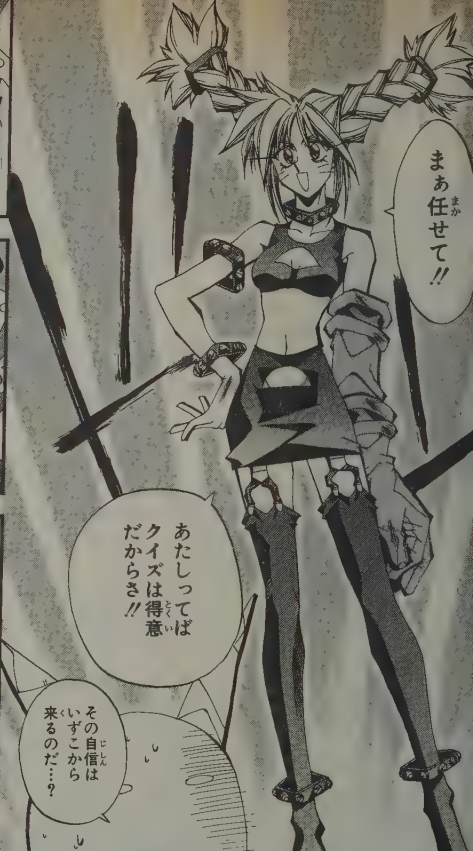
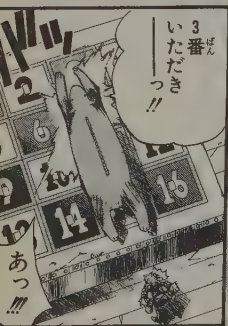
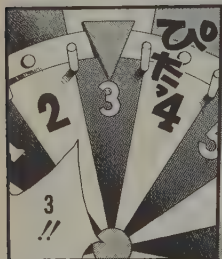


あそ  
遊ばーよー

なに  
何して遊ぶー？







まあ任せて!!  
まか

あたしってば  
クイズは得意  
だからさ!!

その自信は  
いずこから  
来るのだ...?



ざうせーっ!!!



じゃーねー  
クイズしよー

ここに  
巨大ルーレットが  
あるんだけどー

そこにある  
カードを  
先にとつてー

これで出たのと  
同じ数を  
この床から  
探してー

裏に書いてある  
クイズに  
正解した方が  
勝ちー

敵と遊べるか  
ダアホ!

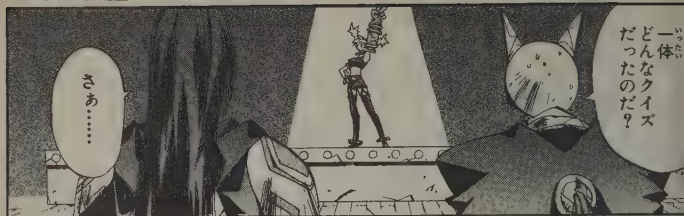
こっちは三人  
おぬしは一人  
まともに戦えば  
余裕でこちらが  
勝つというもの…

ルーレット  
スタート!!

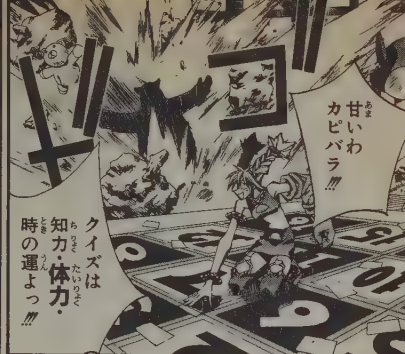
ーつて  
やるんかい  
!!!

蟬玉  
おぬしなーつ!!!

何よ太公望  
ぬいぐるみ相手に  
そう興奮  
しなさんなー  
どーどー!



いしよ  
最初は4本足で、  
せいちよう  
成長すると  
ほんあし  
2本足になり、  
さいしゅうてき  
最終的には  
ほんあし  
3本足になる  
どうぶつ  
動物は  
な——に？



クイズは  
ちから・たいりく  
知力・体力・  
時の運よっ!!!

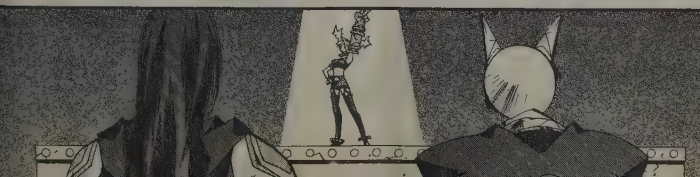
あま  
甘いわ  
カビバラ!!!



さあ  
もんだい  
問題は  
なにつ  
!?



な  
ら  
づけ  
奈良漬!!!





だい かい  
第117回

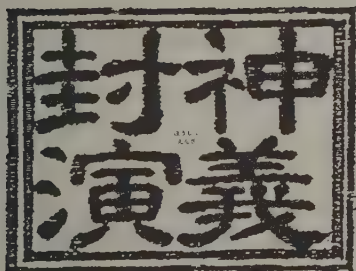
じゅう ぜつ じん たたか

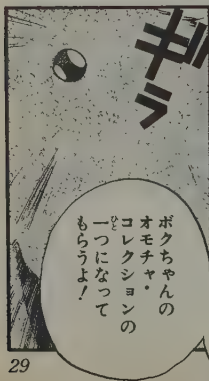
# 十絶陣の戦い

か けつ じん  
『化血陣』

せ かい  
オモチャの世界②



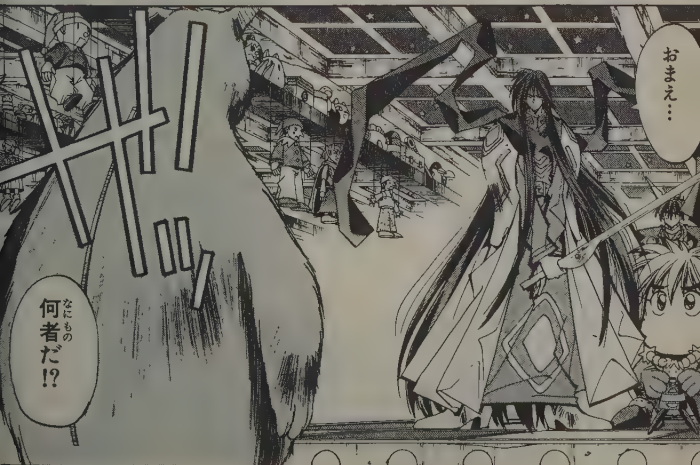
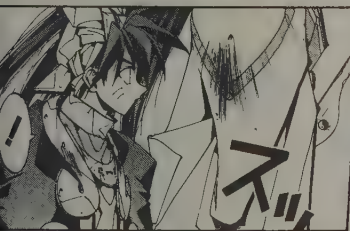
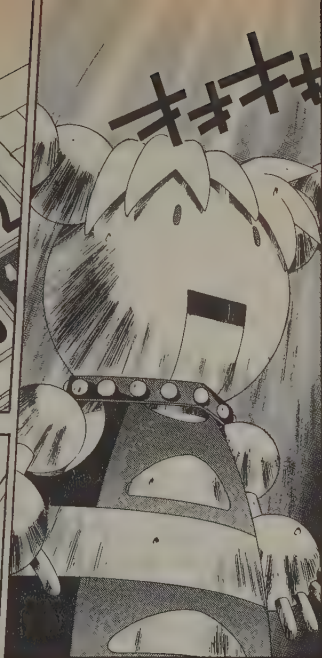






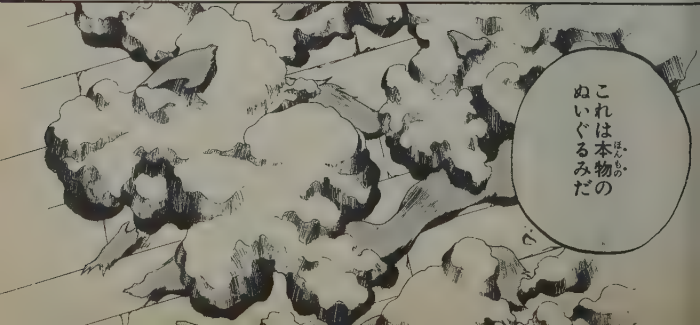
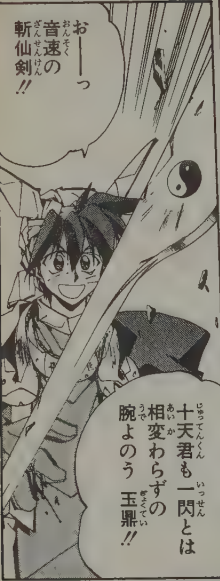


ああ…  
スパイさんが  
人形に…



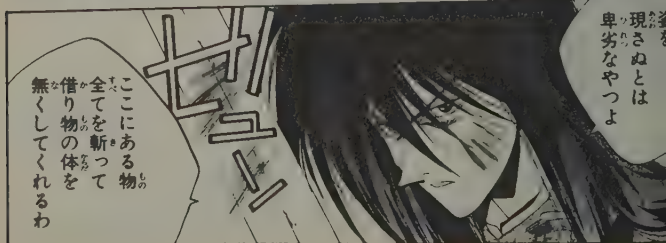
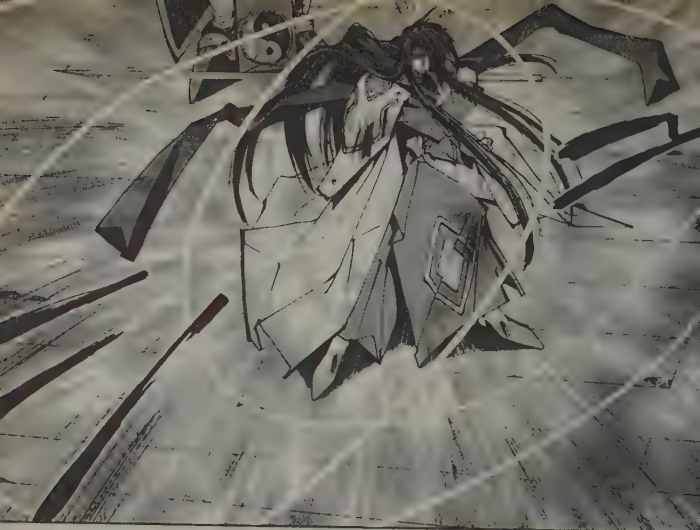
おまえ…

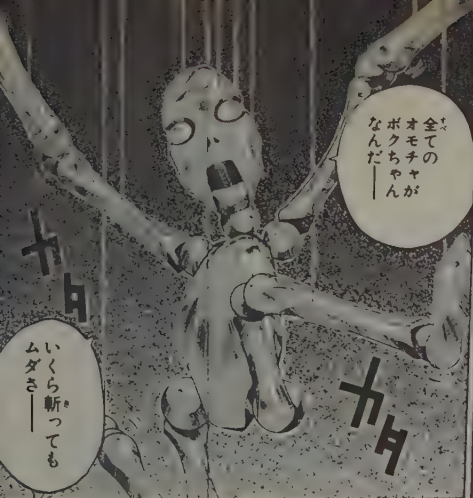
なにも  
何者だ!?











全ての  
オモチャが  
ボクちゃん  
なんだ

いくら斬っても  
ムダさ――

アハハハハハ  
アハツ アハツ

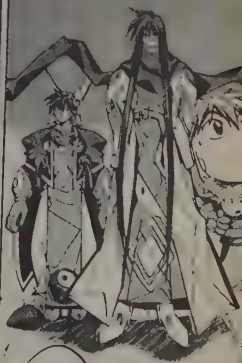


――と  
いう事だな  
玉鼎



どうやら  
オモチャは  
敵の実体では  
ないらしい

どこから  
操って  
おるようのだう



その通りだよ  
玉鼎真人

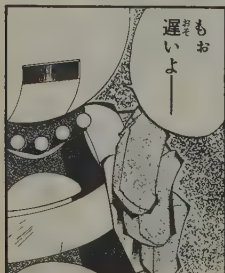
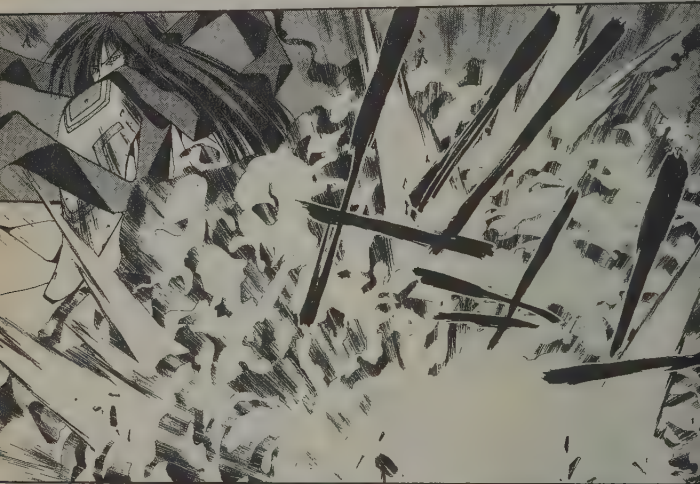


何!?

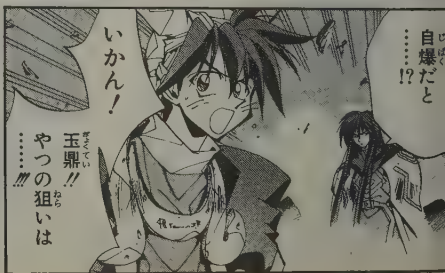


そうそう また  
言い忘れたけど――

ボクちゃんは  
自爆も  
出来るんだ――



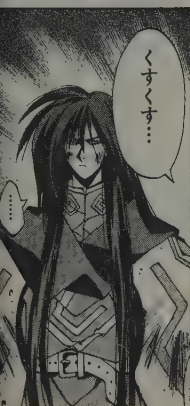
もお  
遅いよ――



いかん!

玉鼎!!  
やつの狙いは  
……!!!

自爆だと  
……!!?

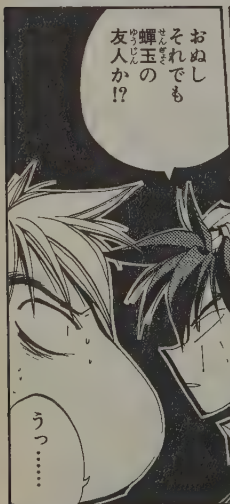






ボクちゃんに  
勝つたら  
この子を  
元に戻して  
あげる――

.....



おぬし  
それでも  
蟬玉の  
友人か!?

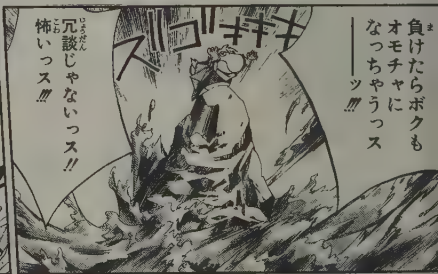
うっ.....



わかった!

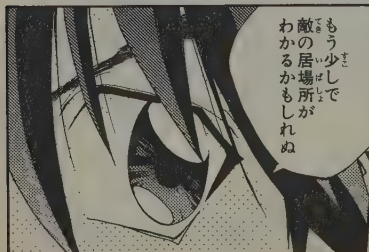
スーパ―よ  
おぬしが  
遊んでやれ!!

ええっ? いやっス  
いやっス!!!

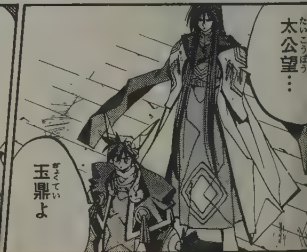


負けたらボクも  
オモチャに  
なっちゃうっス  
ッ!!!

冗談じゃないっス!!  
怖いっス!!!

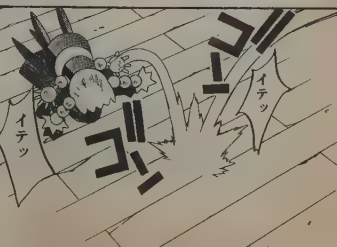


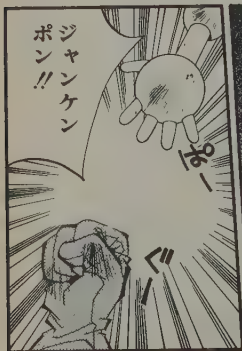
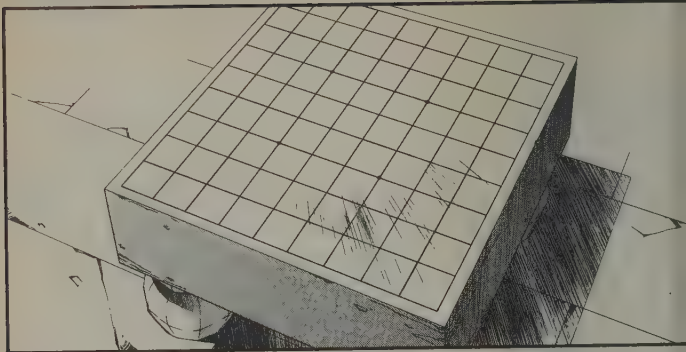
もう少しで  
敵の居場所が  
わかるかもしれぬ

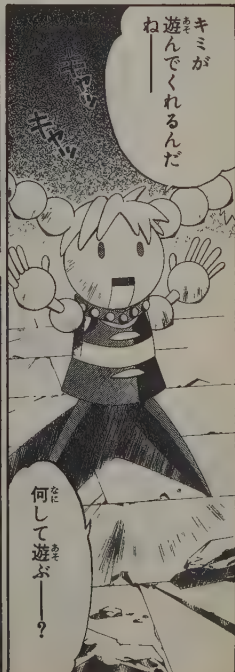
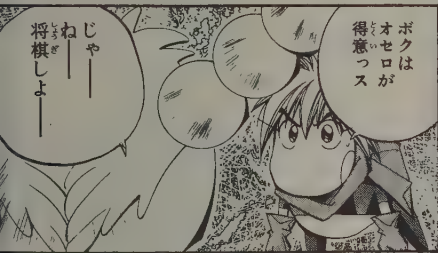


太公望...

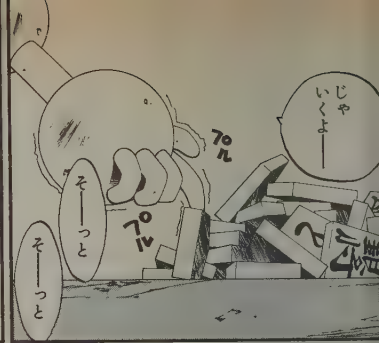
玉鼎よ









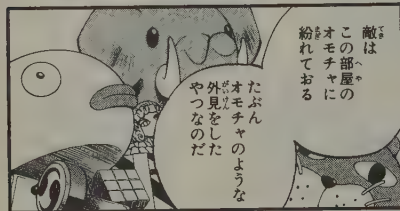


シッ!  
声を小さく!!

太公望よ  
さっきの  
話だが……

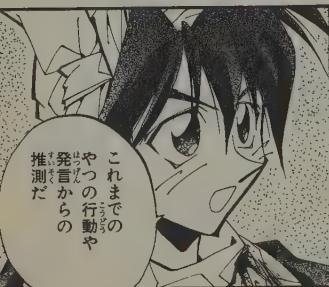


次は  
ボクの番っスよ!!!



敵は  
この部屋の  
オモチャに  
紛れておる

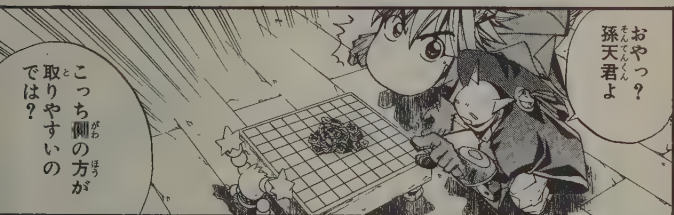
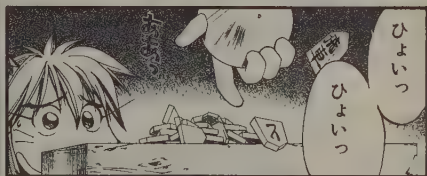
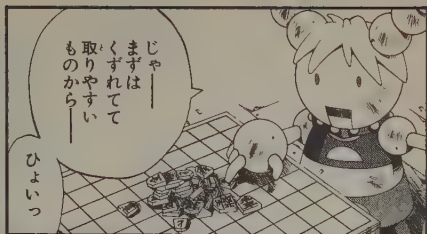
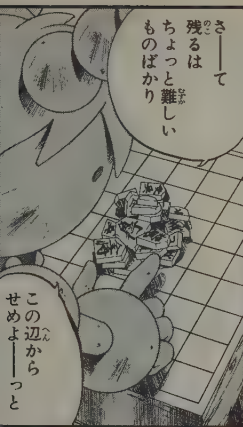
たぶん  
オモチャの  
ような  
外見をした  
やつなのだ



これまでの  
やつの行動や  
発言からの  
推測だ



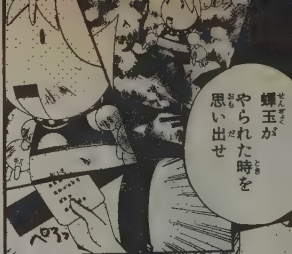
なぜわかる?



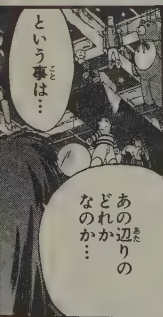


ほんたは  
本体は  
あの台の上の  
クイズ問題が  
見える場所  
におったのだ

まずやつは  
上にいる

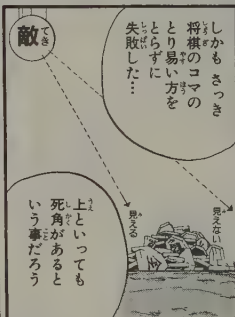


蟬玉が  
やられた時を  
思い出せ



ということ  
事は……

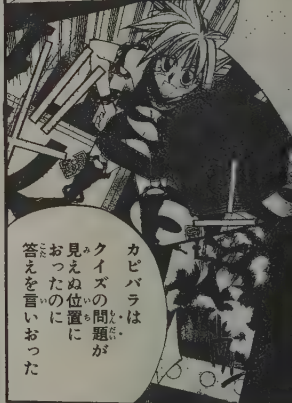
あの辺りの  
どれか  
なのか……



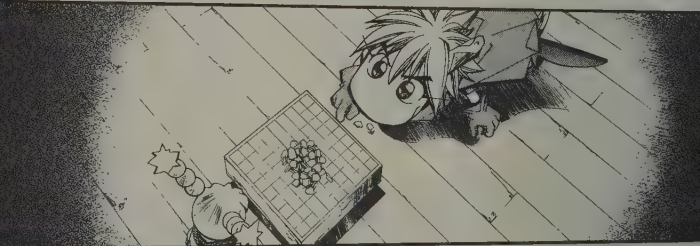
てき  
敵

しかもさつき  
将棋のコマの  
とり易い方を  
とらずに  
失敗した……

上といつても  
死角があると  
いう事だろう

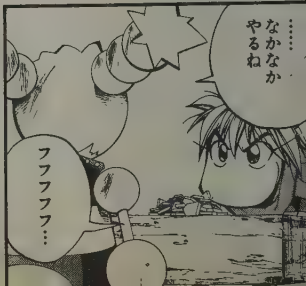


カピバラは  
クイズの問題が  
見えぬ位置に  
おったのに  
答えを言いおった



くすし将棋は  
初めてつすが  
どうしてなかなか  
簡単つすよ!

ここは一つ一気に  
勝負を決めるつす!!



……  
なかなか  
やるね

フフフフ……

さっきおぬしが  
全てのオモチャを  
壊そうとした時

あやつは  
蟬玉せんぎょを人質に  
とってまで  
止めようとした

まずは  
1個は  
ゲット

なぜ  
止めようと  
したのか？

そうされては  
困るからだ

それは  
自分の玩具を  
壊されたくなかった  
からだろう？

大切なら  
自爆は  
させんだろ

では  
やはり全部  
斬るか？

やめておけ

その前に  
蟬玉が  
やられる

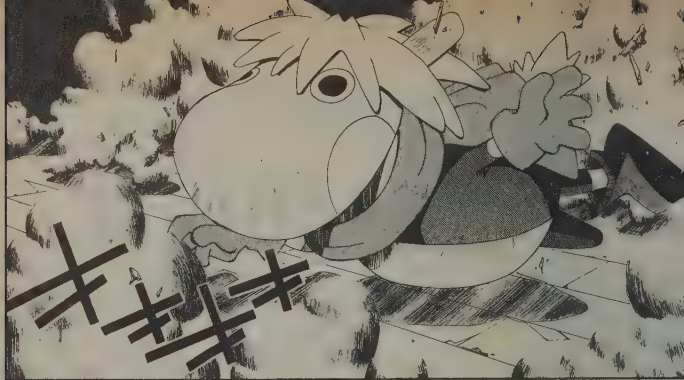
せめて  
どのオモチャが  
本体なのか  
わかれればな

一瞬で  
そいつだけを  
斬れるのだが…

……大体の  
位置は  
わかっておる

何…？





くすくすくす

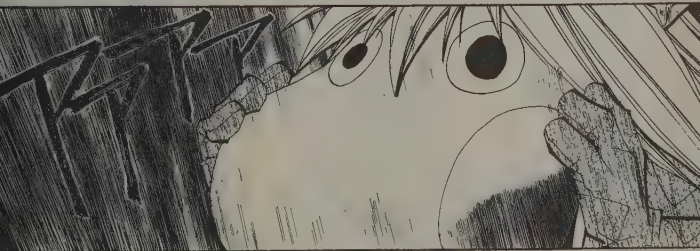
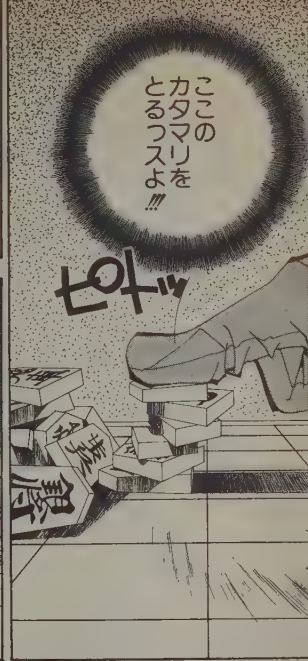
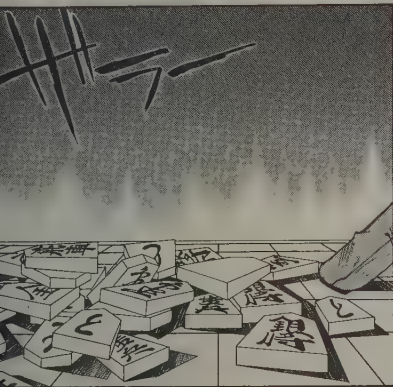
これで二人目！  
次は誰が遊んで  
くれるの？

.....  
太公望かい...

わしが  
やろう

この手の勝負なら  
わしも少々  
たしなんでおる

さ——て  
何して  
遊ぼうかのう？



だい かい  
第118回

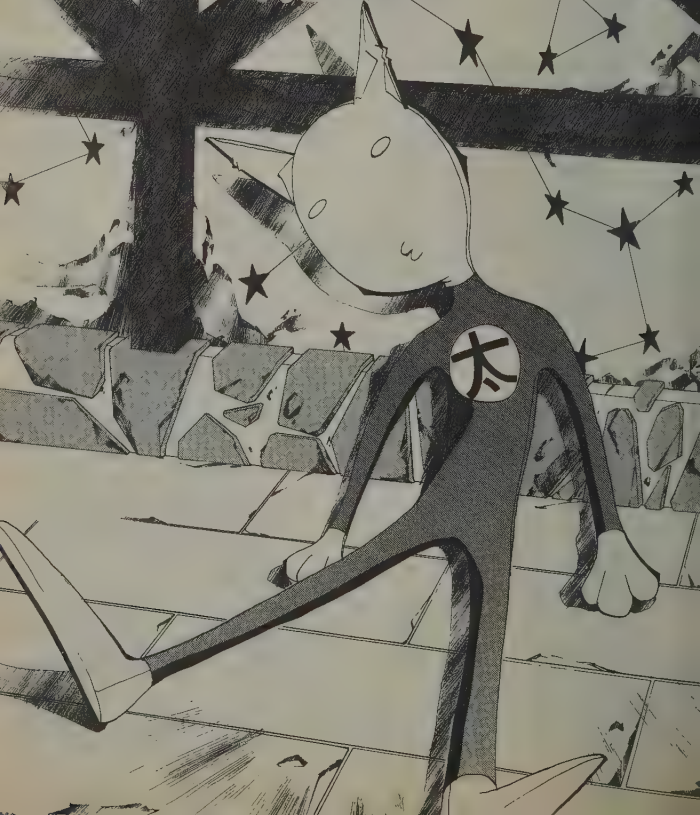
じゅう ぜつ じん

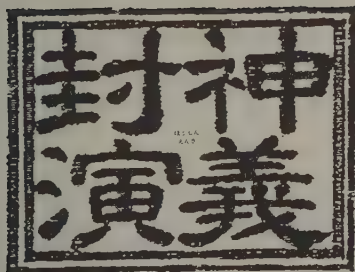
たたか

# 十絶陣の戦い

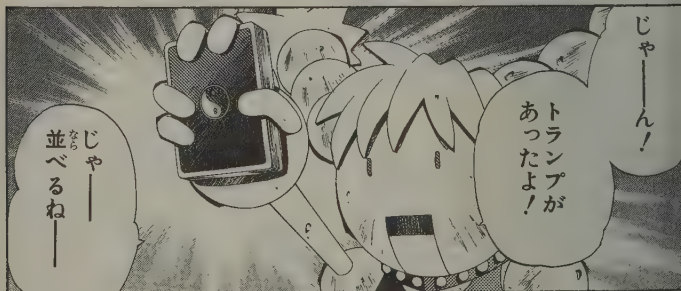
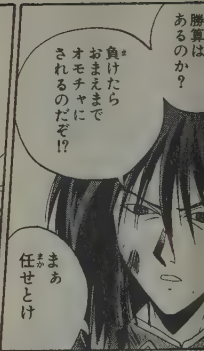
か けつ じん  
『化血陣』

しん けい すい じゃく  
★ 神経衰弱











じゃー  
ねー

『神経衰弱』を  
しよー



生真面目な  
ボケを…

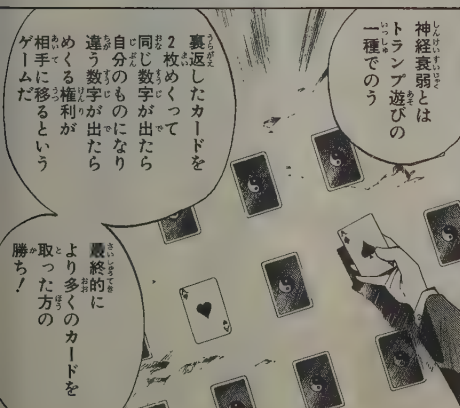
太公望よ  
その  
真剣水雀とは  
何かの  
奥義なのか？



神経衰弱か…

よからう

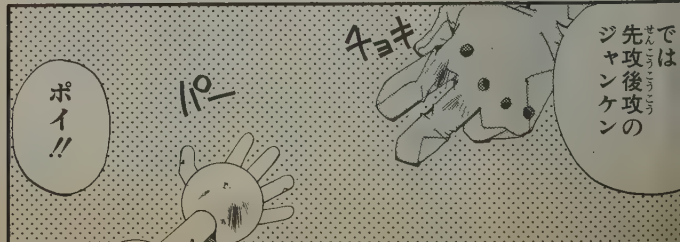
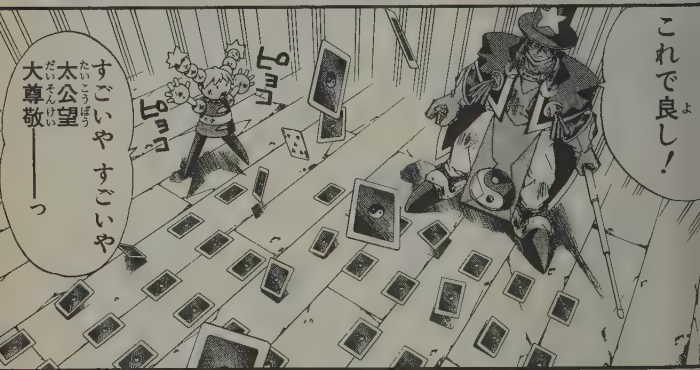
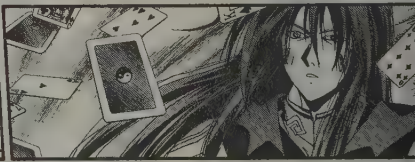
わーい！

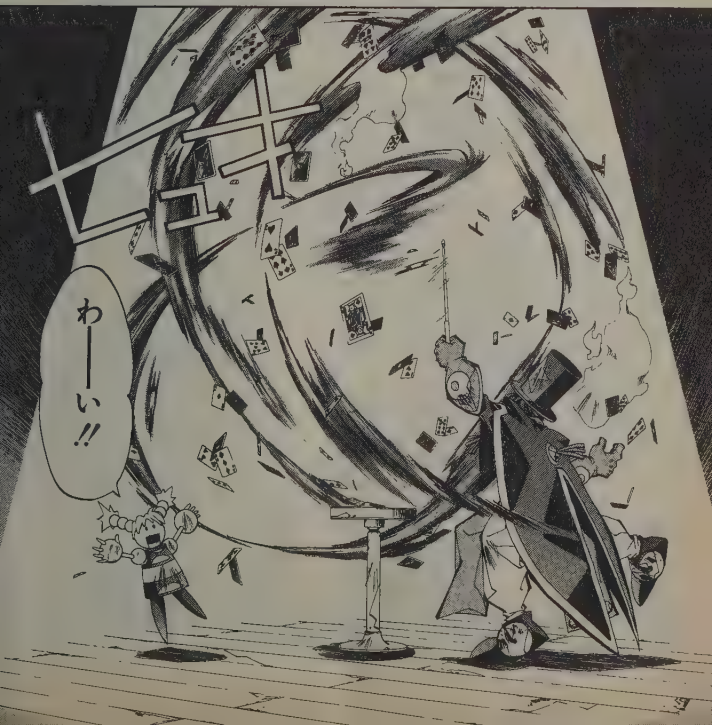
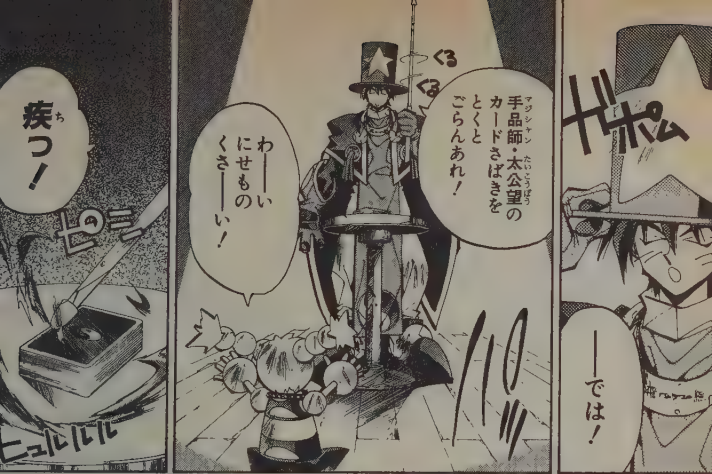


神経衰弱とは  
トランプ遊びの  
一種でう

裏返したカードを  
2枚めくって  
同じ数字が出たら  
自分のものになり  
違う数字が出たら  
めくる権利が  
相手に移るとい  
うゲームだ

最終的に  
より多くのカードを  
取った方が  
勝ち！







…す…すごいな  
どう  
やったのだ？

フフフ…  
Mr.タイコーボーの  
超魔術に  
不可能はない！

…つていうのは  
冗談として…

実はさっき  
カードを  
飛ばした時に  
表の数字を全部見て  
配置を暗記した

何っ…!?

わ—っ  
ははははは  
ははははは  
ははははは  
ははははは

セコい  
イカサマだが  
これはこれで  
すごいのかも…

中解  
百正  
百向  
百全

これっ！

これっ！

これっ！

これと  
これっ！

これと  
これっ！



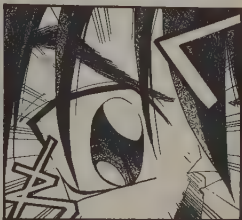
これと  
これだ

っ!!!



フフフ…  
わしからだ  
のう……

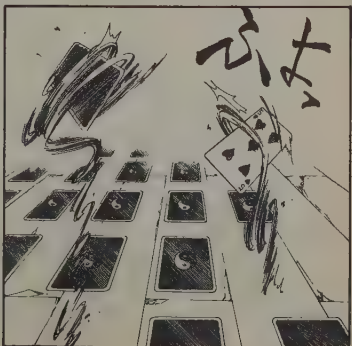
ちえ  
ちえ  
——



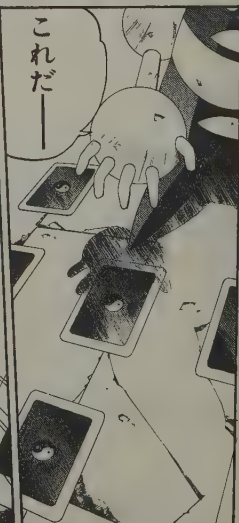
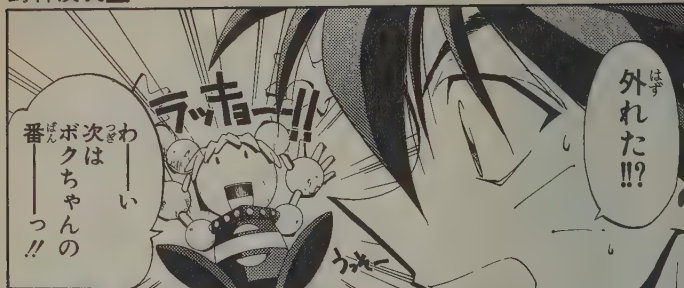
おおっ  
あ  
当たった!!!

ハ  
チ  
ン

フ  
ン



ふ  
ん



あああ  
何て楽しい  
神経衰弱!!

愉快すぎて  
背景に  
花が咲きそう  
っ!!!

うう...ある意味  
才能に溢れた  
イカサマ...

まーキミに  
カードを切らせた  
ボクちゃんの  
ミスだけどー

いやあ

でもね  
記憶なんてものは  
意外とあいまい  
且つ不確かな  
もので

人を  
裏切る事も  
あるんだよね

またまたっ!  
負け惜しみ  
をつ!!

まずは一勝して  
スーアーを  
元に戻してー...

あら?





こんなのなんか  
目を閉じてても  
中身が  
わかるしー

何だったら  
こんな事まで  
出来ちゃうよー



なっ……  
すべてのカードが  
同じ数に……

そうか……

空間の宝貝  
十絶陣……

「空間使い」

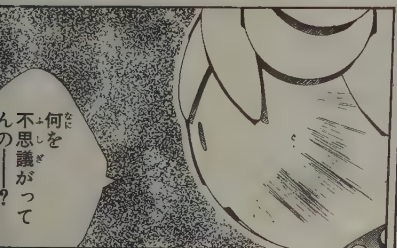
孫天君の宝貝・  
化血陣内では  
遊びに負けた者は  
人形になる

ただし  
「主人」に  
負けはない

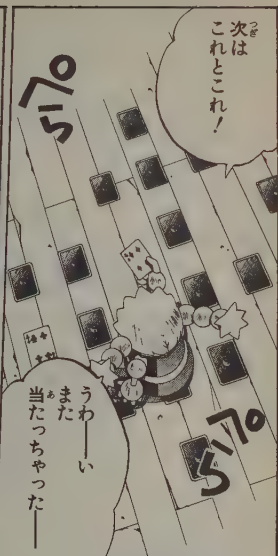
それこそが  
十天君の力  
だったのだ



おっ！  
おぬし  
どうして…？



何を  
不思議がって  
んの？



次は  
これとこれ！

うわーい  
また  
当たっちゃったー



ここはボクちゃんの  
部屋だもん  
何でも思い通りに  
なるに  
決まってるじゃん

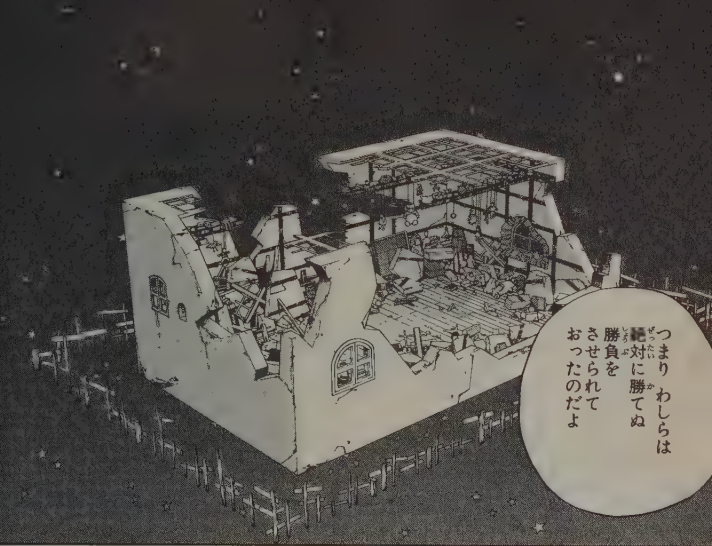
『創造主』  
都合の良い空間  
……それが  
十天君の十絶陣  
なのだからねー



太公望……  
たいこうぼう



あんしん  
安心しろ！



つまりわしらは  
絶対に勝てぬ  
勝負を  
させられて  
おったのだよ



玉鼎……



後は  
任せたぞ



ひっ

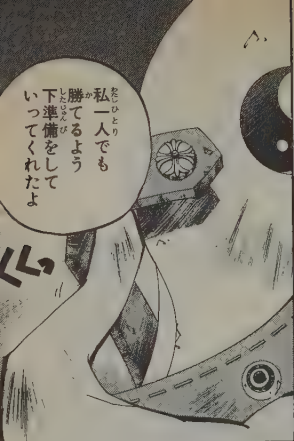


フッフー——  
気づくのが  
遅いよ——

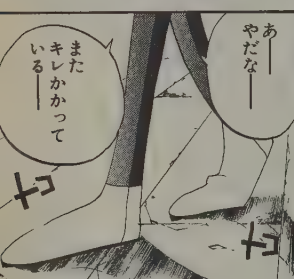
もう  
半分の26枚を  
取ってるから

あと1組を合わせれば  
ボクちゃんの勝ち——  
キミのオモチャ化  
決定——





私一人でも  
勝てるよう  
下準備をして  
いってくれたよ



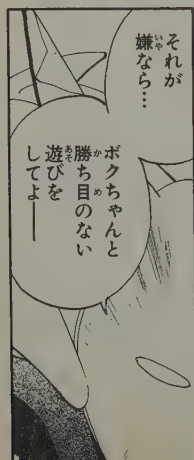
あ  
やだな

また  
キレかかって  
いる



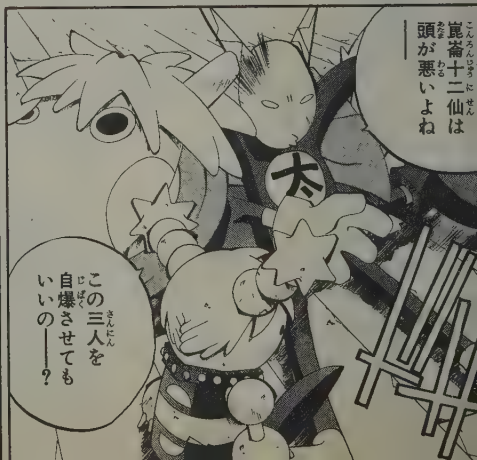
太公望に  
勝った  
つもりだろうが

あの者は崑崙で  
最高の頭脳を持つ  
大イカサマ師だ



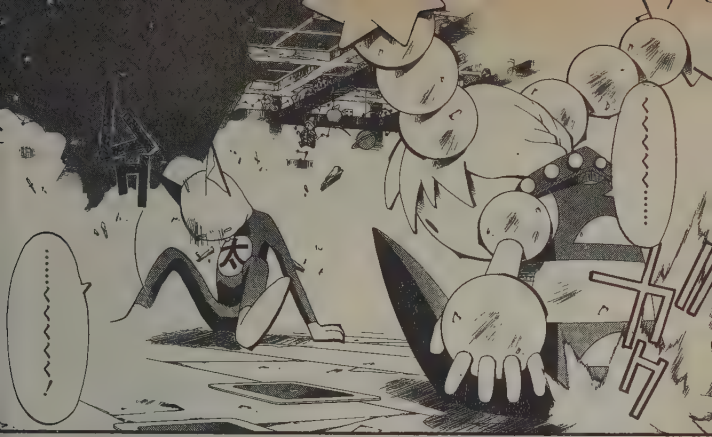
それが  
嫌なら…

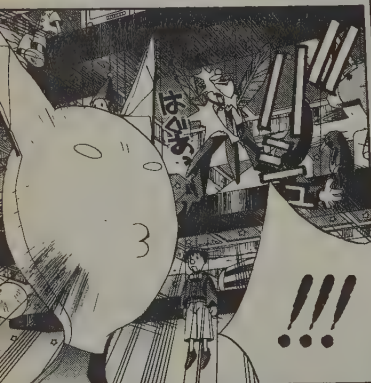
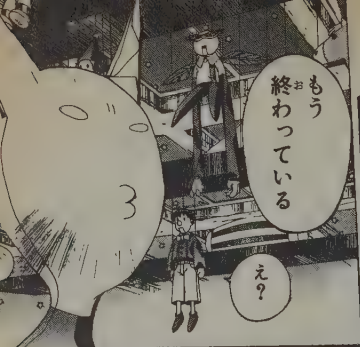
ボクちやんと  
勝ち目のない  
遊びを  
してよ



崑崙十二仙は  
頭が悪いよね

この三人を  
自爆させても  
いいの—？





愚<sup>おろ</sup>か者<sup>もの</sup>は  
おまえだ!!

自<sup>じ</sup>爆<sup>ぼく</sup>する  
暇<sup>いま</sup>も与<sup>あた</sup>えずに  
斬<sup>き</sup>り殺<sup>ころ</sup>して  
くれるわ!!!

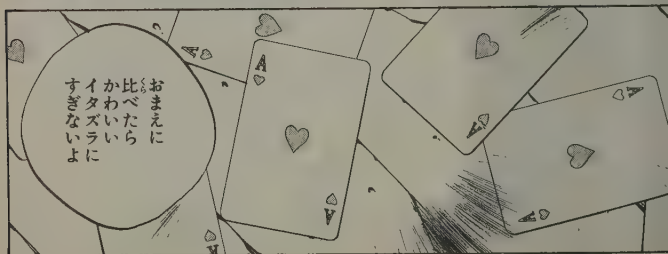
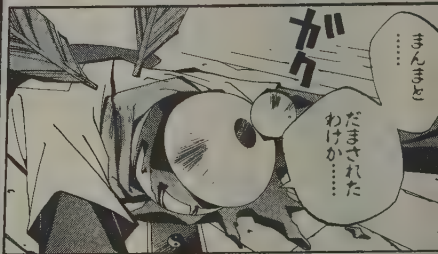
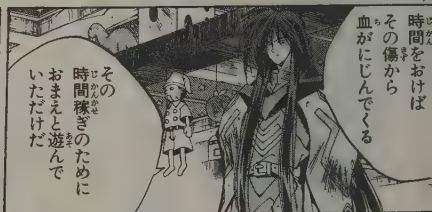
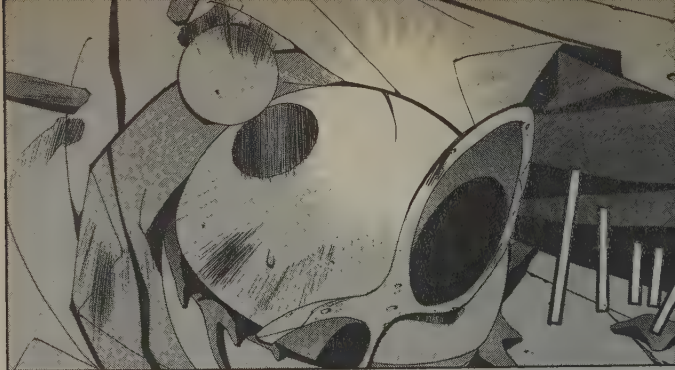
あはは——  
やってみたら——?

本<sup>ほん</sup>当<sup>とう</sup>のボクちゃんが  
どこにいても  
知らないくせに  
!?

知<sup>し</sup>っている

太<sup>たい</sup>公<sup>こう</sup>望<sup>ぼう</sup>が教<sup>おし</sup>えて  
くれたからな







どうして……？



……おまえの言動から  
太公望は  
天井にあるオモチャ  
十数体に狙いを  
絞っていたのだ

風で  
その十数体全てに  
ほんの小さな  
傷をつけておいた

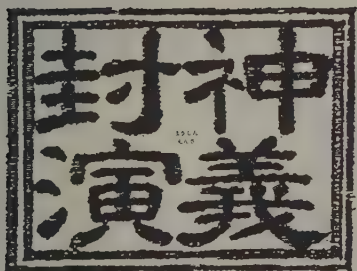




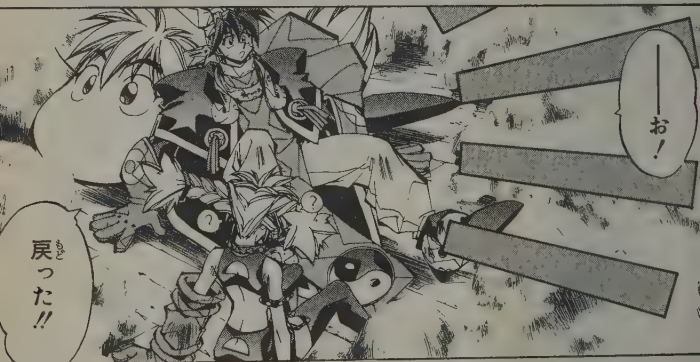
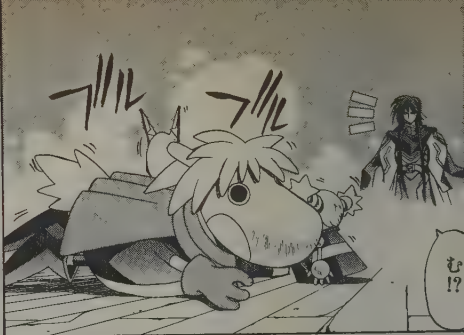
第119回

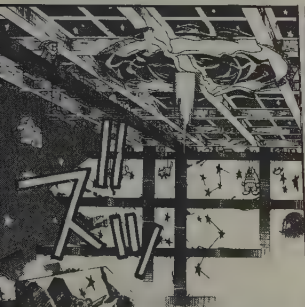
じゅう ぜつ じん たたか  
十絶陣の戦い

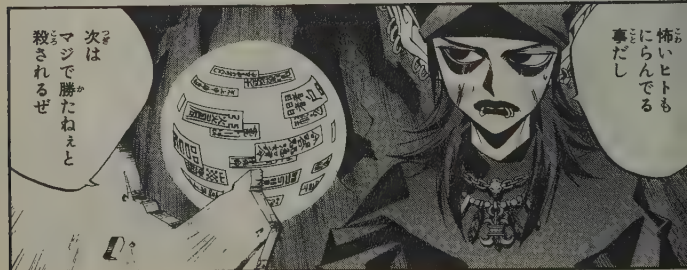
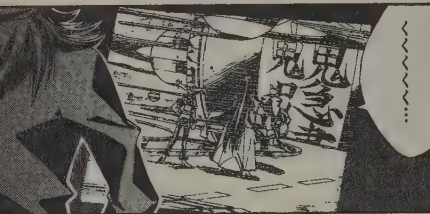
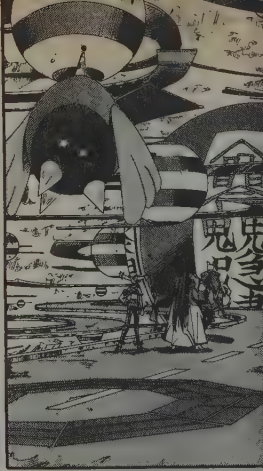
こう すい じん  
『紅水陣』  
り かい ふ り かい  
理解不理解

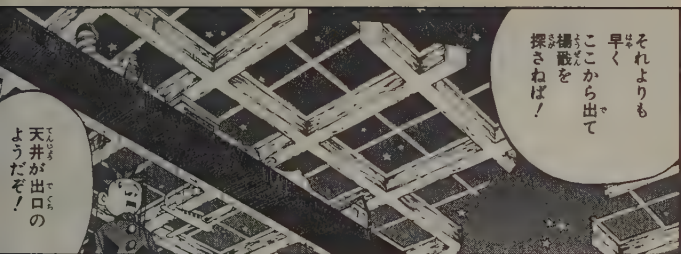






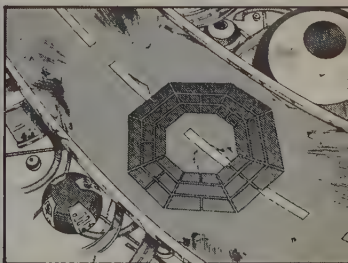
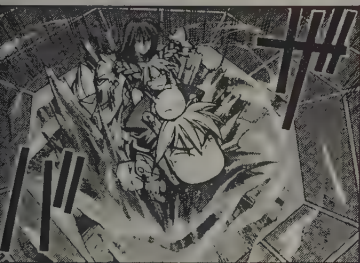






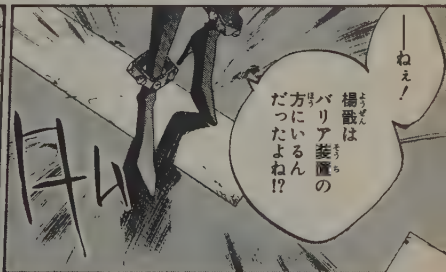
それよりも  
早く  
ここから出て  
楊戩を  
探さねば!

天井が出口の  
ようだよ!



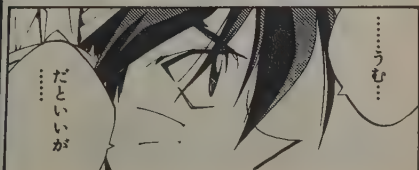
とにかく  
急がねば!

鬼急  
口急



楊戩は  
バリア装置の  
方にあるん  
だったよね!?

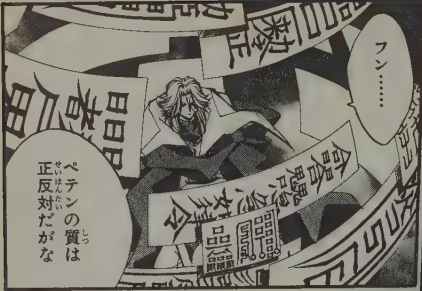
— ねえ!



……うむ……

だいたい  
……



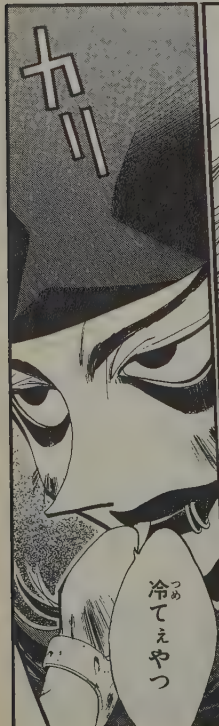


ペテンの質は  
正反對だがな

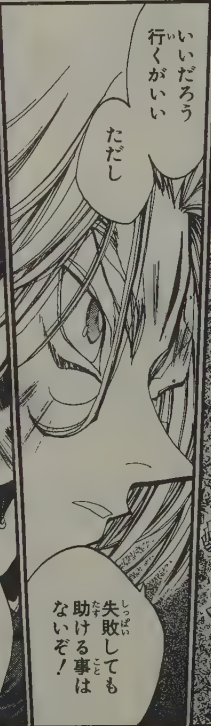
フン……



だがオレなら  
あいつの  
ペテンにやあ  
ひっかからねえ



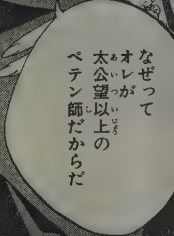
つめ  
冷てえやつ



いいだろう  
行くがいい

ただし

失敗しても  
助ける事は  
ないぞ！



なぜって  
オレが  
太公望以上の  
ペテン師だからだ



こんらん  
崑崙の仙人  
ひとりひとりの  
一人一人の力は  
大した事あ  
ねえが……



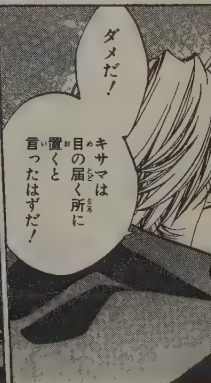
次はオレが  
行こうと思う！

聞仲！  
おんちゅう



だが今他のやつを  
出すのは  
どうかな？

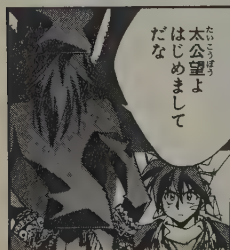
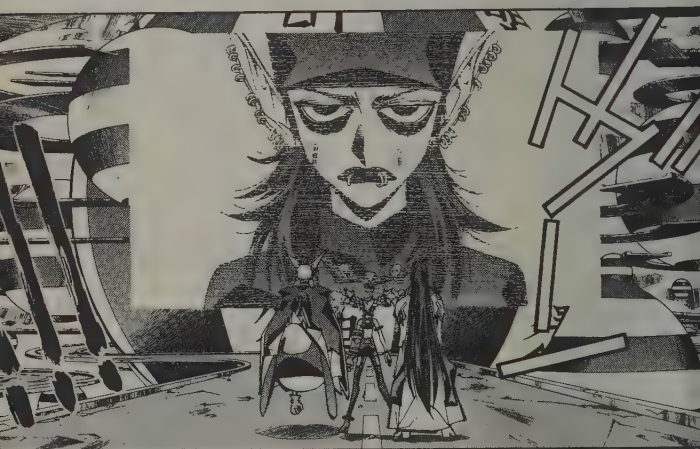
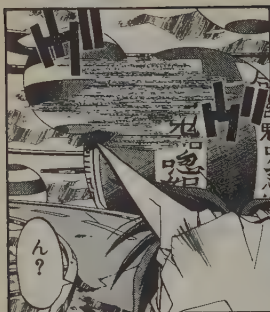
孫天君と  
同じハメになる  
かもしれねえぜ



ダメだ！

キサマは  
目の届く所に  
置くと  
言っただけだ！

太公望が絡むと  
その知恵で  
実力以上の成果を  
上げやがる



な——んだ!

さっきの  
カピバラって  
敵だったの  
おっ!?

わかってたら  
クイズなんて  
してないで  
リンチしてた  
のにい——っ!!

しかも  
十天君の  
一人であつた

おめえ  
おめえ  
だは——

じゅっ……  
十天君  
だったの!?

ひえっ

おめえ  
十天君を  
見た事も  
ないのか?

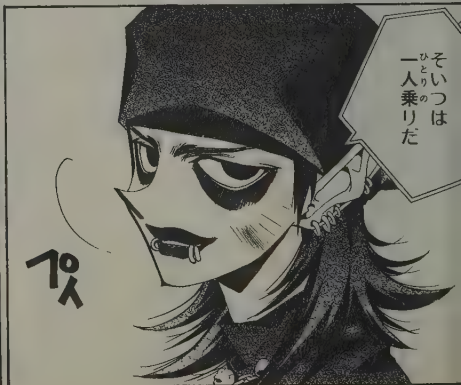
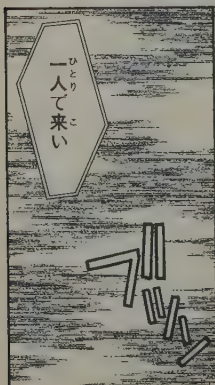
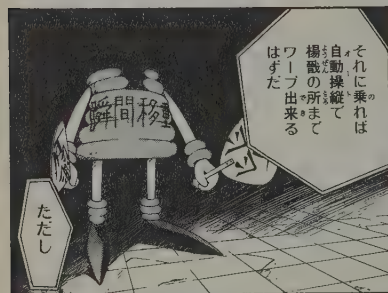
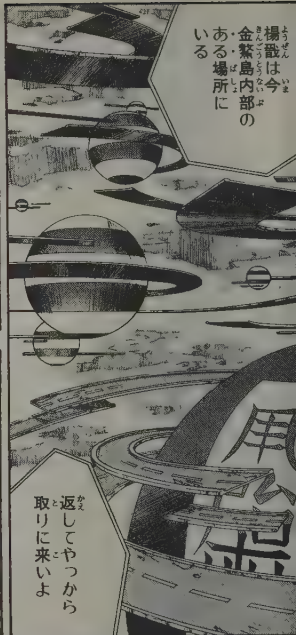
ないわ——

金鯨島は  
とにかく  
秘密主義が  
徹底しているのよ

特に  
十天君以上の  
大仙人は  
そうで——

どんな能力があり  
どんな仙人なのか  
さっぱり  
わからないの

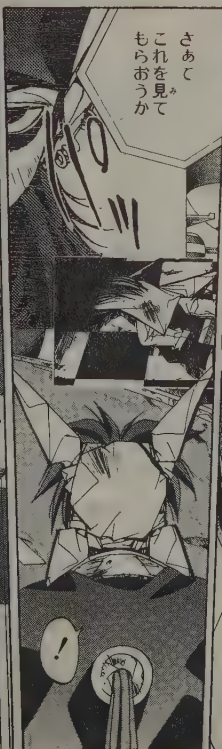






オレは  
王天君<sup>おうてんくん</sup>つてんだ

お見知り<sup>みし</sup>おき  
ねがうぜ  
大将<sup>たいしょう</sup>



さあて  
これ<sup>み</sup>を見て  
もらおうか

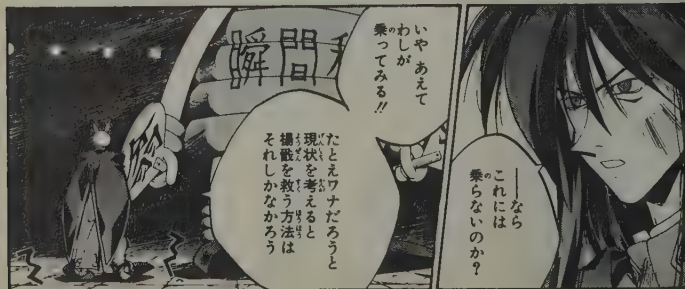
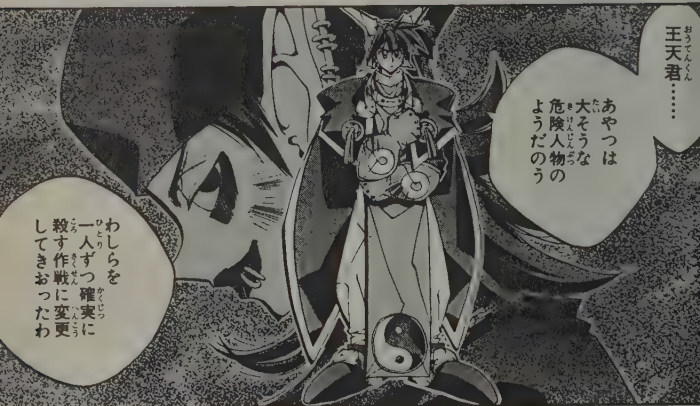


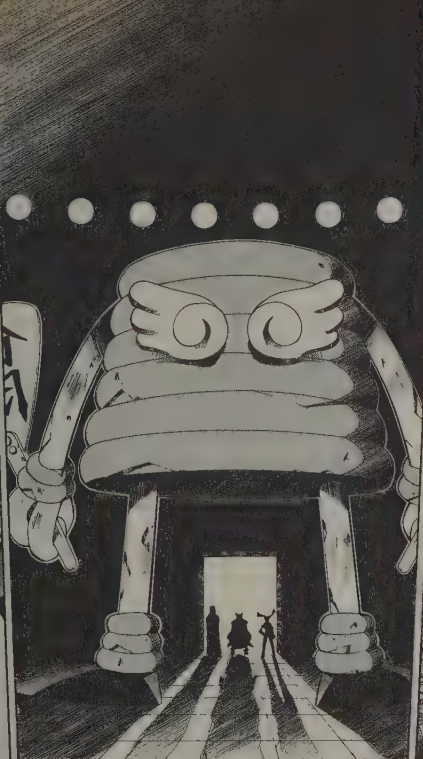
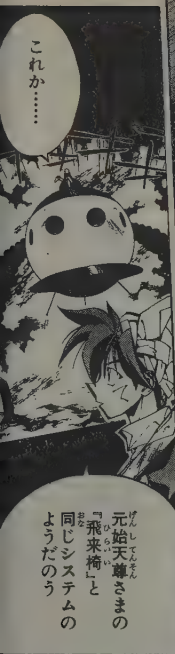
うっそ!

それじゃあ  
この  
不健康<sup>ふけんこう</sup>そうな  
子供<sup>こども</sup>も……



十天君<sup>じゅうてんくん</sup>か…!!







私は楊戩が赤子だった頃から一緒にいる

あの子についておまえの知らない事も知っている

人は他人を完全にわかってやる事など出来ない

心を読む力でもない限りは…

その代わりおまえも私が見ていない楊戩を知っているはずだ

「わかっていない」と思い込んで他人の心の奥にはとんでもない秘密が隠れている事もあるんだ

おまえ達の知らぬ秘密がある

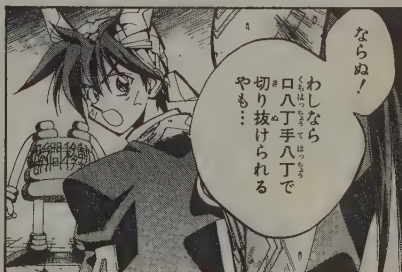
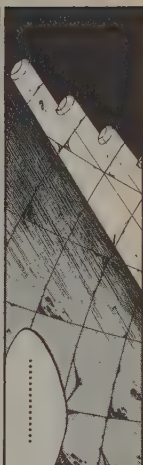
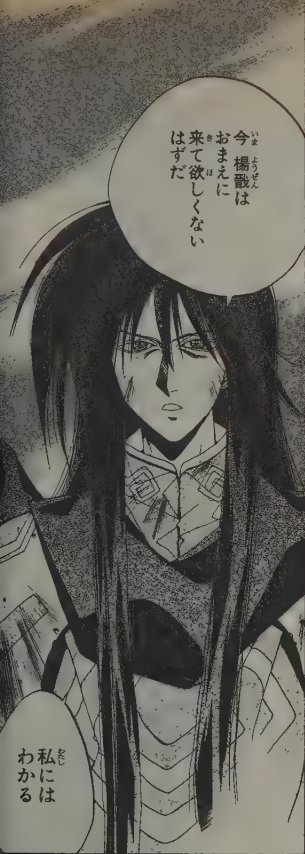
そしてその事をまた誰にも知られたくないと思っている

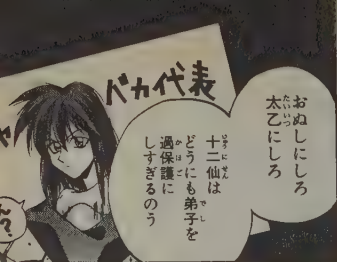
おそらくおまえはこう思うはずだ

「突然なんだよ!」  
なんで今まで言わなかった!!…と

だが今おまえが行けばその楊戩の本性を見てしまう事になるだろう

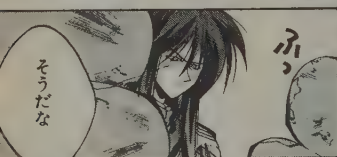
それはあの子の心を深く傷つける…



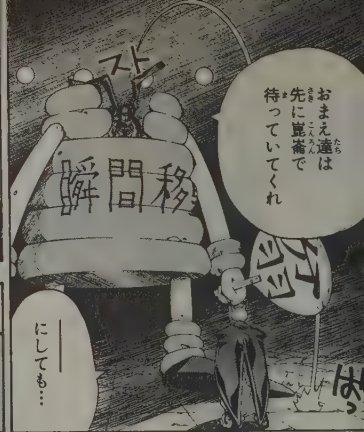


おぬしにしろ  
太乙にしろ

十二仙は  
どうにも弟子を  
過保護に  
すぎるのう

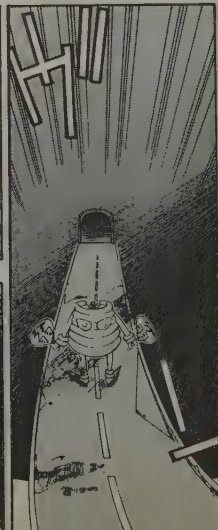
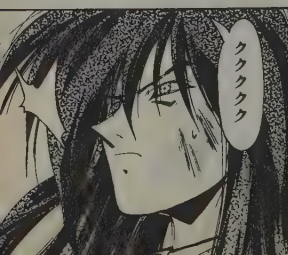


そうだな



おまえ達は  
先に崑崙で  
待っていてくれ

にしても...



だからあの子の心が  
もう少し強くなって  
自分から  
話せるようになるまで  
待っていて欲しい

頼む  
太公望

—だがな

わかったよ  
玉鼎

おぬしに  
任せる！

楊戩の本性が  
何であれ  
わしは見捨てぬ！

それだけの  
時間を  
共有してきた  
からのう！！

…ありがとう  
太公望！





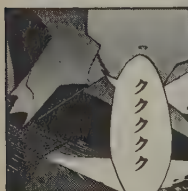
師匠……



楊戩……  
ようぜん

ホッ  
ホッ

がんばったな!

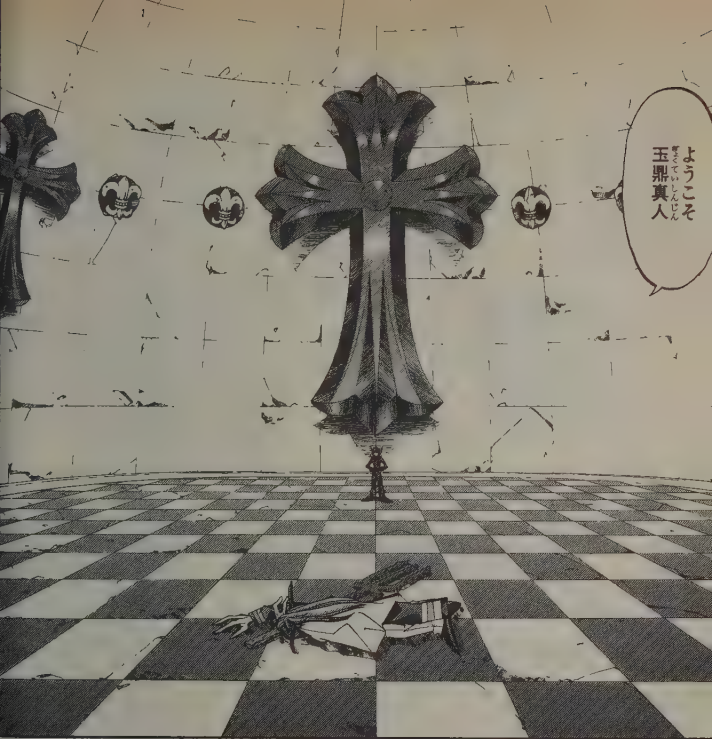


クククク



ただし代金は  
頂かねえとな  
だいきん

万引きは  
犯罪だぜ  
はんぎ  
はんざい  
じゅうに  
せん  
十二仙!



ようこそ  
玉鼎真人



玉鼎真人  
師匠...



おらよつ  
持つて帰んな

楊戩は  
そこに  
落ちてるぜ

だい かい  
第120回

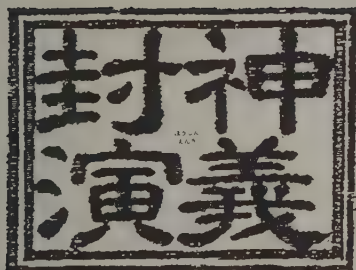
じゅう ぜつ じん たたか

# 十絶陣の戦い

こう すい じん  
『紅水陣』

ち あめ  
血の雨









：おそらく  
玉鼎は  
十天君の所へ  
向かっておる

そして  
幹部である  
きやつらの部屋は  
中樞に近い所  
にあるのでは？



う……



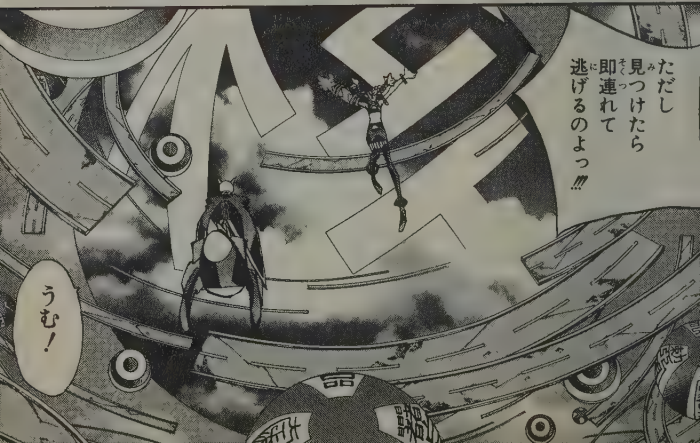
何としても  
玉鼎と楊戩を  
探し出した  
探し出した！

このまま二人を  
置いたまま  
帰れぬ！！



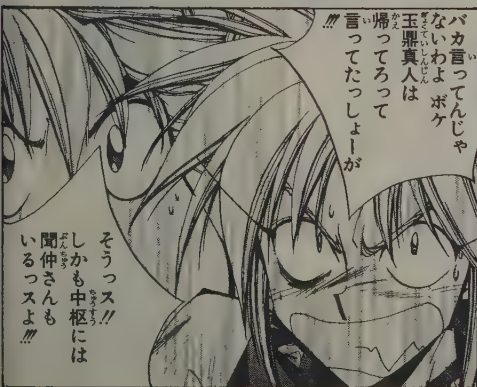
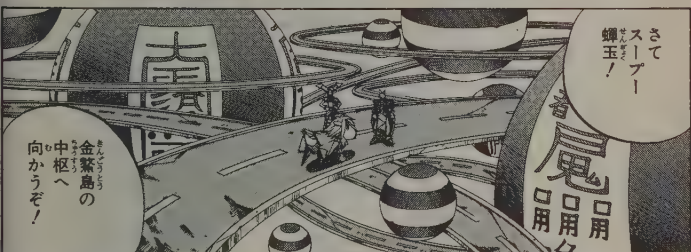
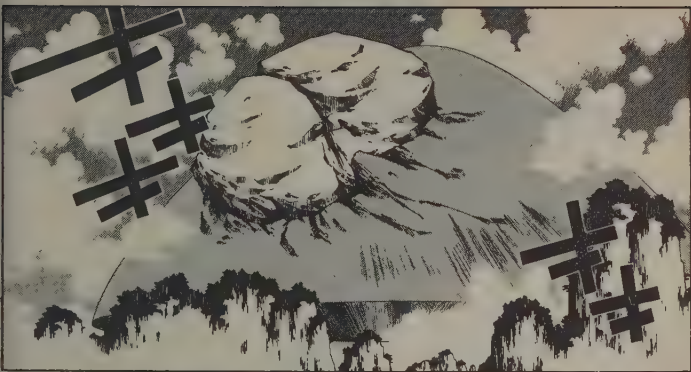
仕方  
ないわねえ……

わかったわよ  
行くわっ！



ただし  
見つけたら  
即連れて  
逃げるのよっ！！

うむ！





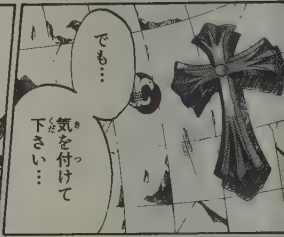
ありがとうございます  
ございます  
師匠…

その言葉だけで  
僕は  
救われます…



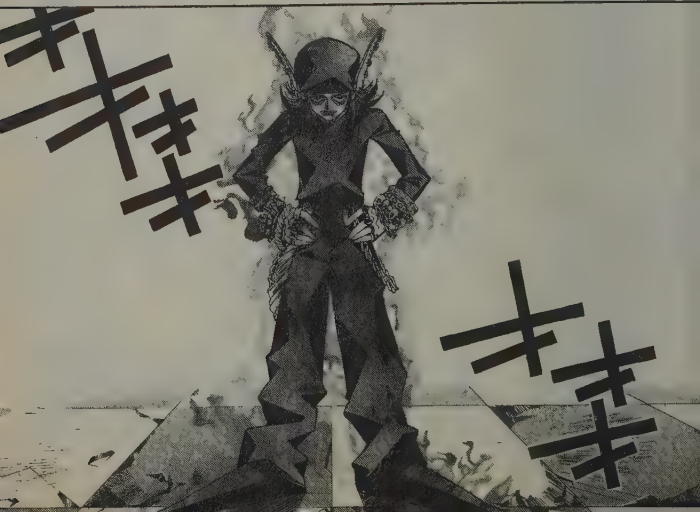
あの者…  
王天君は  
邪悪です…

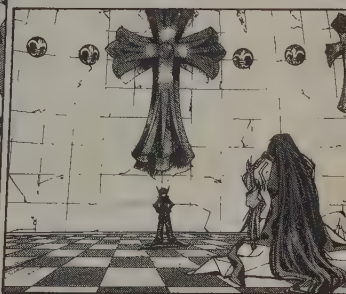
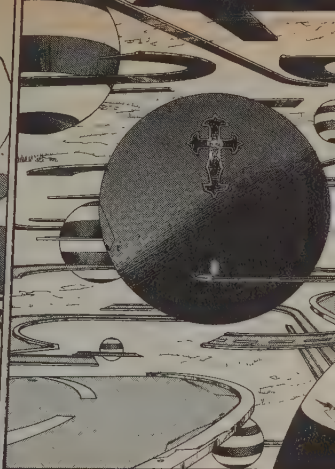
底知れない  
不吉な感じが  
します…



でも…

気を付けて  
下さい…





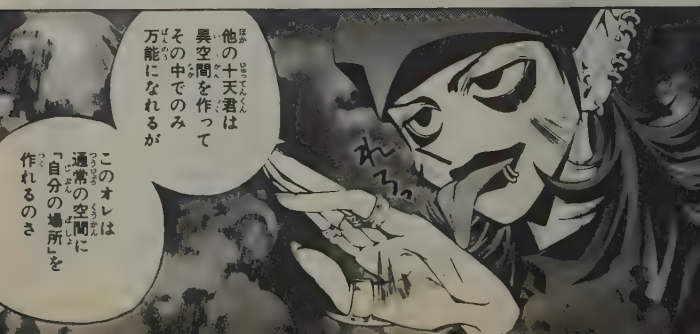


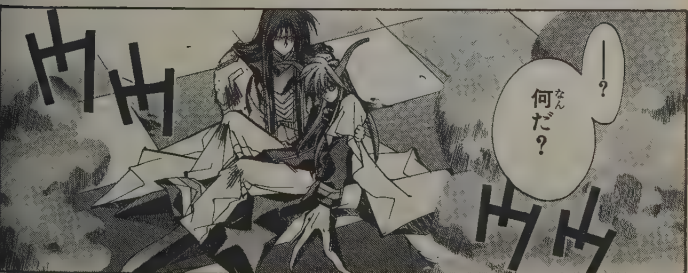
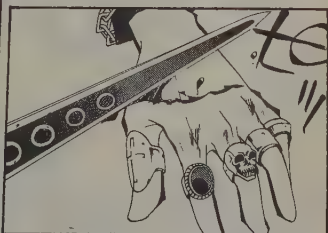
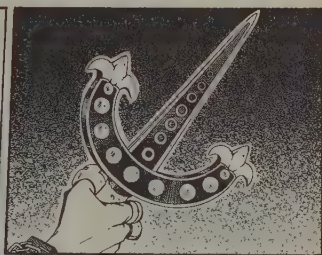
バオベエ  
宝貝  
『紅水陣』

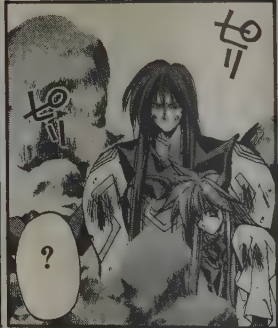
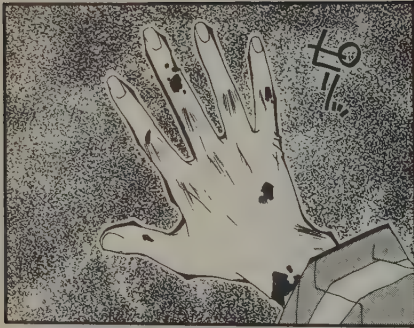


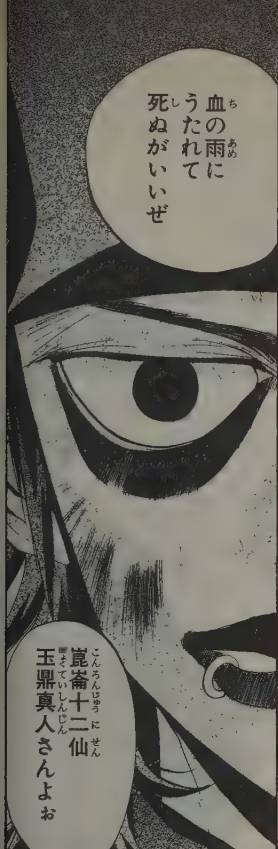
他の十天君は  
異空間を作って  
その中でのみ  
万能になれるが

このオレは  
通常の空間に  
『自分の場所』を  
作れるのさ



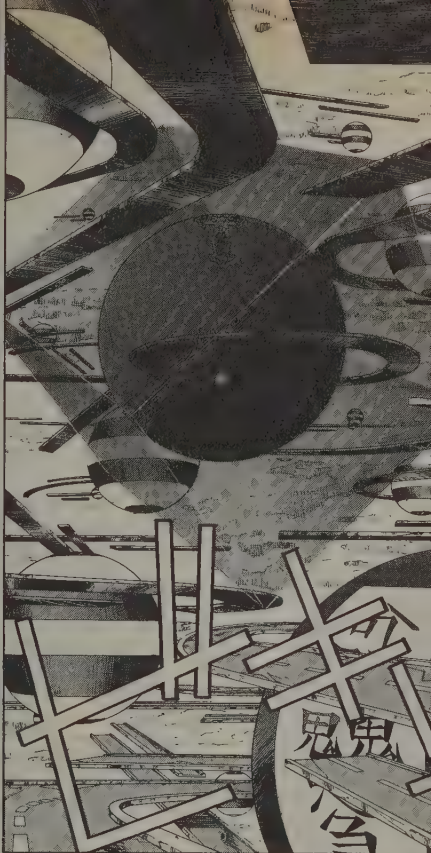




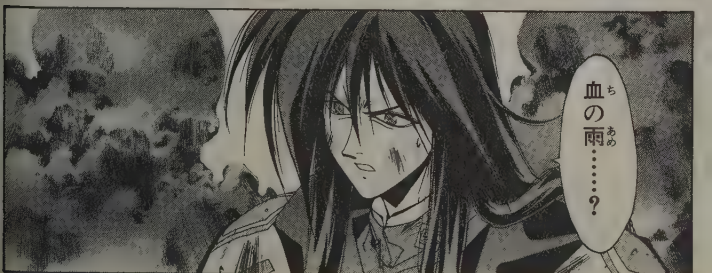


ちあめ  
血の雨に  
うたれて  
死ぬがいいぜ

こんろんじやうにせん  
崑崙十二仙  
まていしんじん  
玉鼎真人さんよお



鬼鬼  
ハタ



ちあめ  
血の雨……？



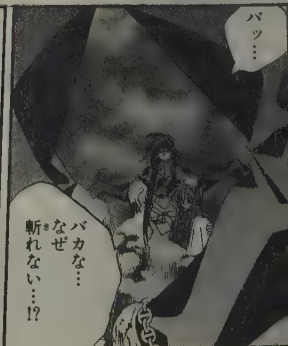


ニイ



ククククク...

シュル



バツ...

バカな...  
なぜ  
斬れない...!?

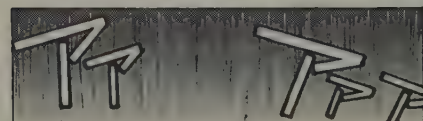
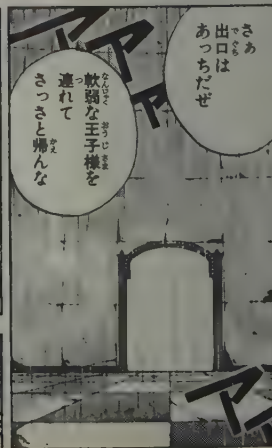
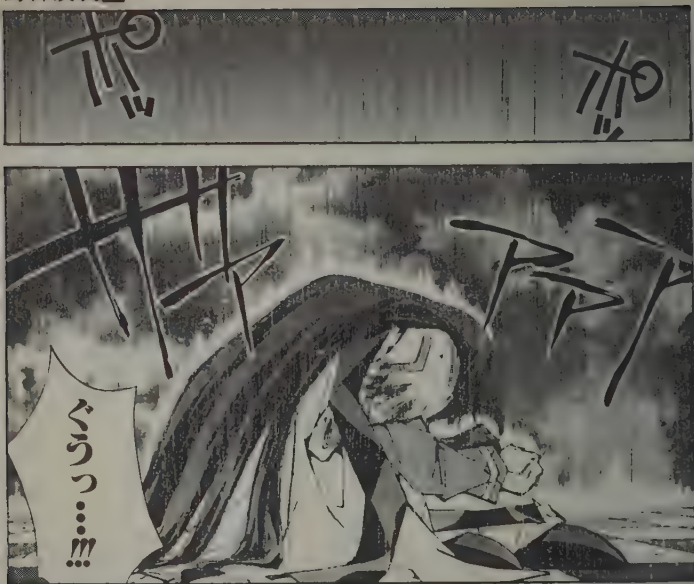
助かる  
ほうほう  
方法は  
ただ一つ

『オレの空間』から  
逃げる事  
だけだ！

それは  
おまえを  
倒す事だ！！

フン

もう一つ  
あるだろう？





バカやろうは  
おまえだよ



おまえが  
見てるものは  
本当のオレが  
作り出した幻

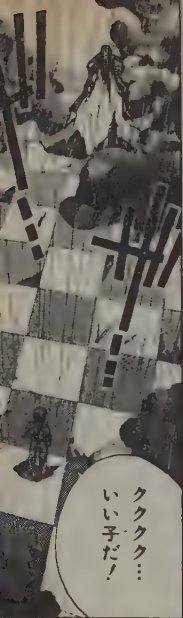
この  
血で満たされた  
空間自体が  
オレだ

つまり おまえは  
オレの  
体の中にいる  
ようなもんなのさ

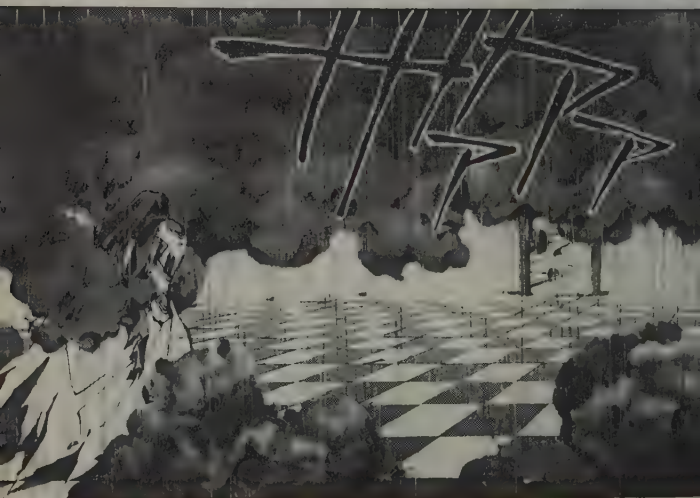
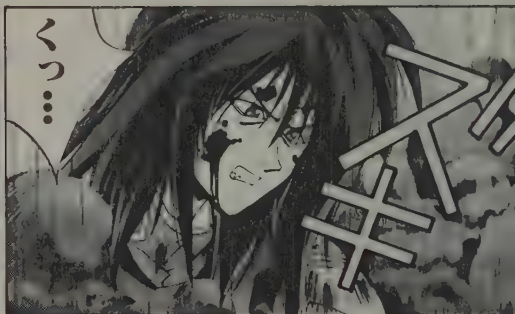


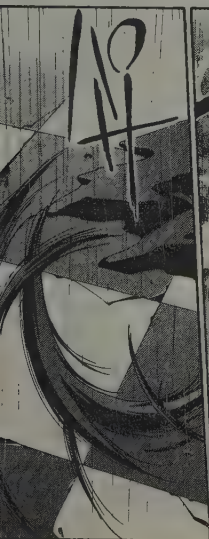
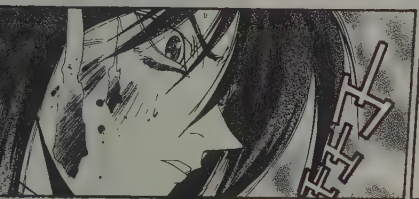
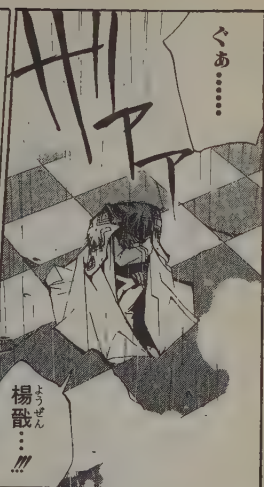
オレって  
格闘する  
タイプじゃ  
ねえんだよなあ





クククク…  
いい子だ！



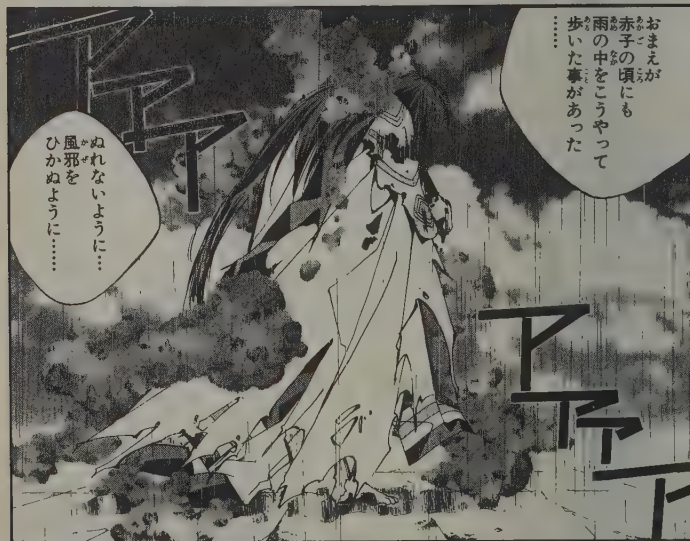




え？



思い出すよ……

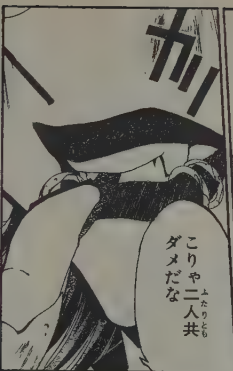


おまえが  
赤子の頃にも  
雨の中をこうやって  
歩いた事があった  
……

ぬれないように……  
風邪を  
ひかぬように……

楊戩  
ようぜん

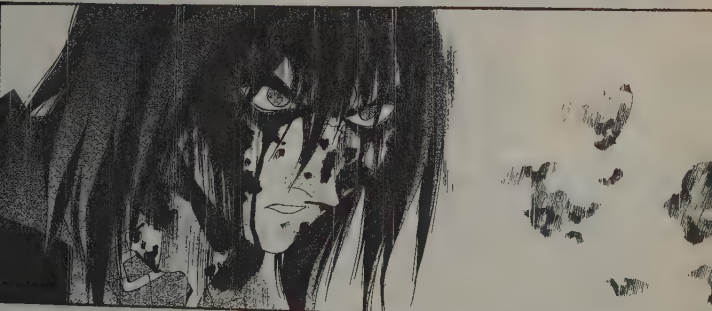
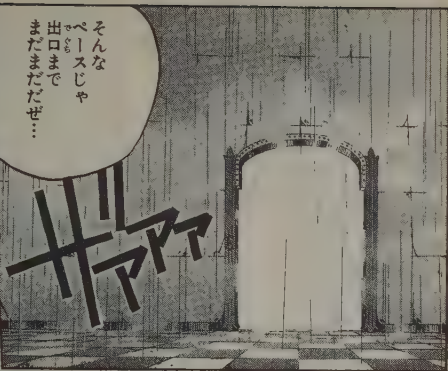
大きく  
なったな  
おお



こりや二人共  
ダメだな

そんな  
ペースじゃ  
出口まで  
まだまだだぜ…

アアア

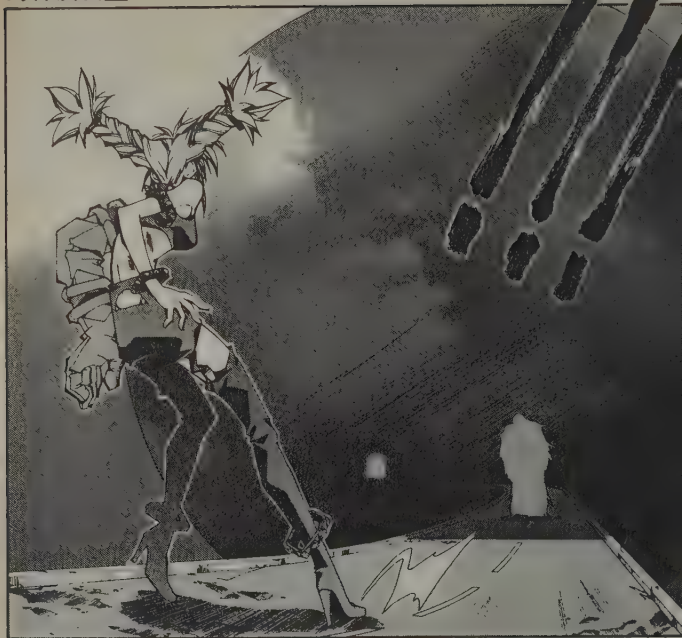


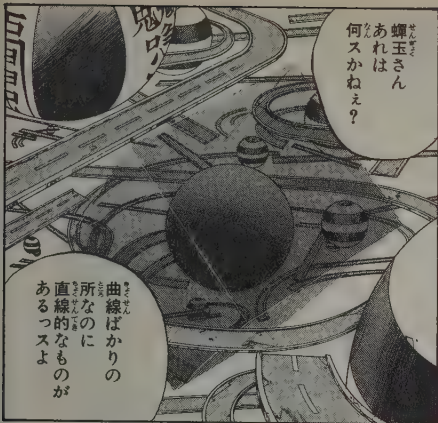
しっ…  
師匠…!!

おれを  
置いてって  
下さい…!

ひとり  
一人なら  
助かります  
……!!





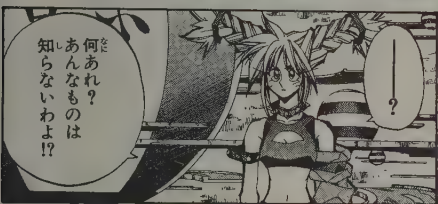


せんぎょく  
あれは  
何スカねえ？

せんぎょく  
曲線ばかりの  
所なのに  
直線的なものが  
あるっすよ



あれ？



なん  
何あれ？  
あんなものは  
知らないわよ！

—  
?



ああつ！  
かっ  
勝手な行動を  
とるでないっ  
つの！！

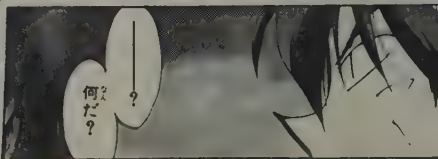
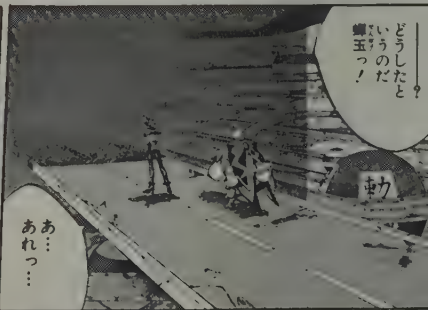
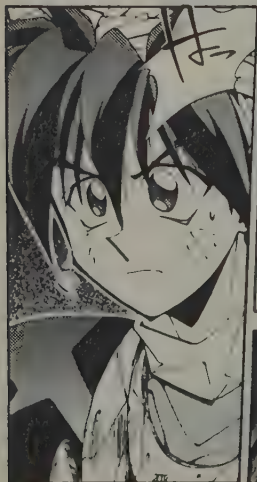
い  
行つて  
みよう！！

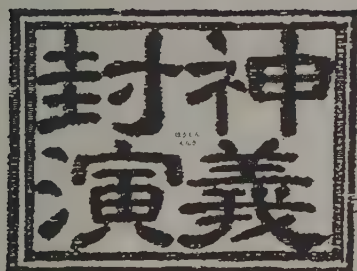
第121回

# 十絶陣の戦い

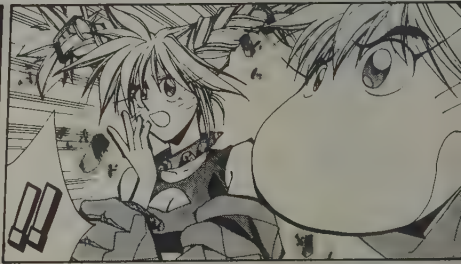
『紅水陣』

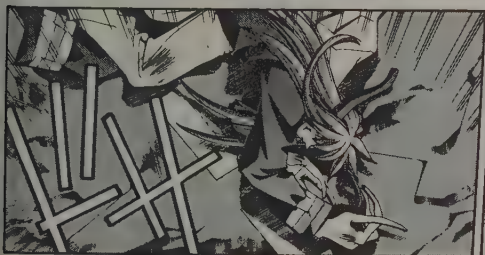
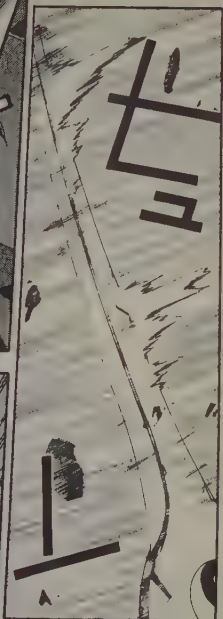
玉鼎真人の魂魄・封神台へ









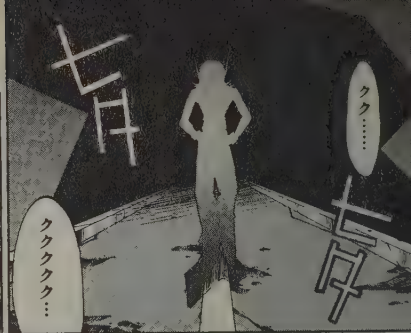


ようぜん  
楊戩を  
たのむ……



玉鼎!!

たいこうぼう  
太公望……



ククククク...

クク...



ははははは

はは...はは...は



楊戩やうぜんさんの...!?



だらしのねえ  
ヒューマニズム  
だぜ!

玉鼎真人ぎょくとうじんは  
くたばって更に  
楊戩やうぜんの正体まで  
バレてやんの!!



止せよせ蟬玉せんぎょく  
帰るぞ!

全部ぜんぶ  
あんたが  
やったのね!?

こっけい過ぎて  
両腹りょうはらが痛え  
ククククク...



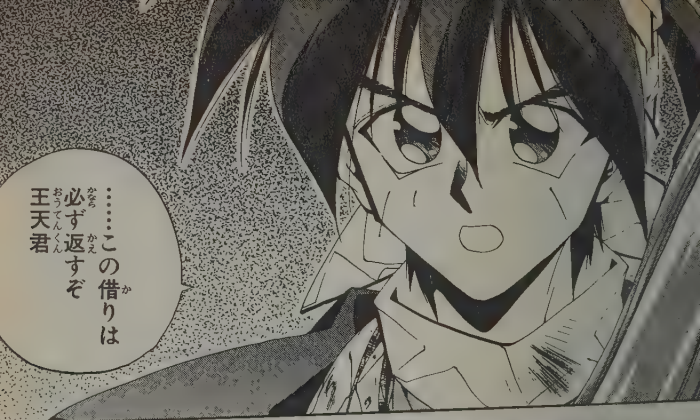
だい かい  
第121回

じゅう ぜつ じん たたか  
十絶陣の戦い

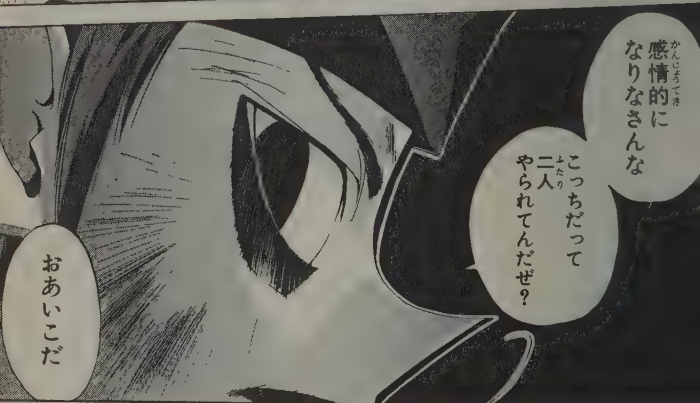
こう すい じん  
『紅水陣』

ぎょく てい しん じん こん ぱく ほう しん だい  
玉鼎真人の魂魄・封神台へ





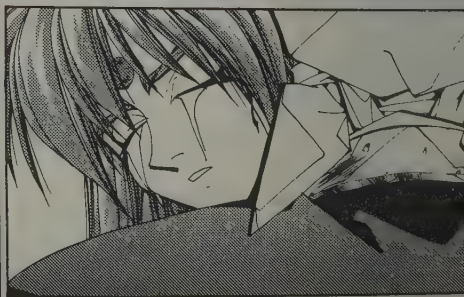
……この借りは  
必ず返すぞ  
王天君



感情的に  
なりなさんな

こっちだって  
二人  
やられてんだぜ？

おあいこだ



師匠……

和 夕

だって  
太公望…

楊戩程の道士が  
なぜこんなに  
消耗して  
おるのだ？

楊戩の  
手当てが  
先だ！

王天君…おぬし  
何かしたな？

ニヤァ

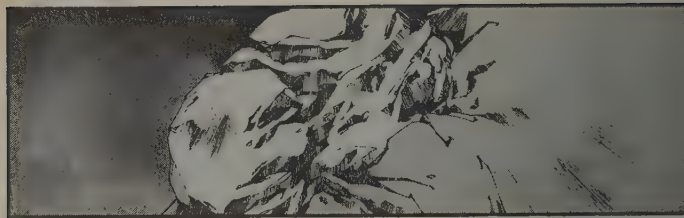
オレは無傷で  
返すとは一言も  
言っただけ

それは常に  
宝貝を使うくらいの  
ダメージを体に  
与え続ける

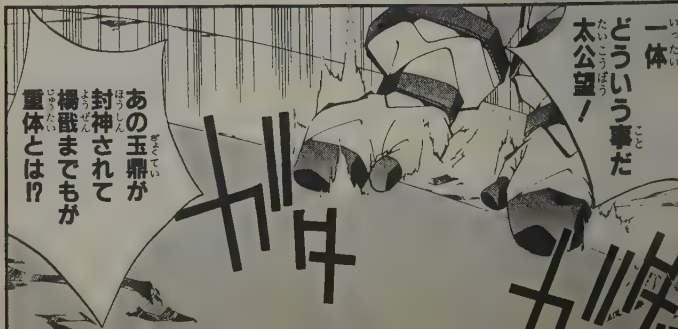
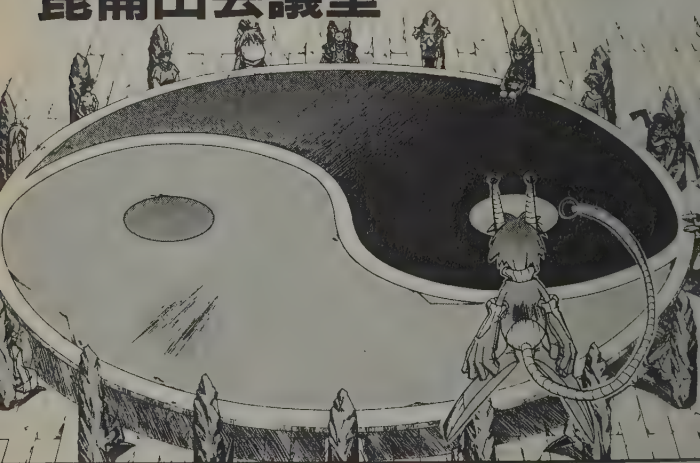
なかに  
二人きりの時に  
ちよつと悪戯  
させてもらった  
だけだ

首の辺りに  
イレズミの  
ような模様  
がある？

まあ約束通り  
生かしてやっただけ  
マシだと思っ  
くれねえとな

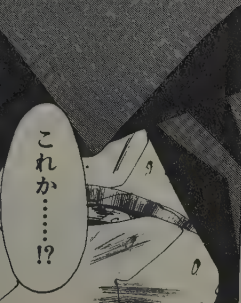
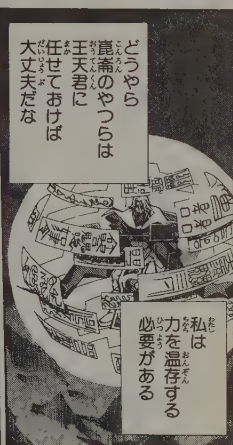
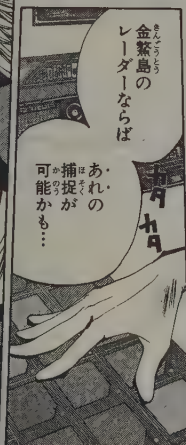
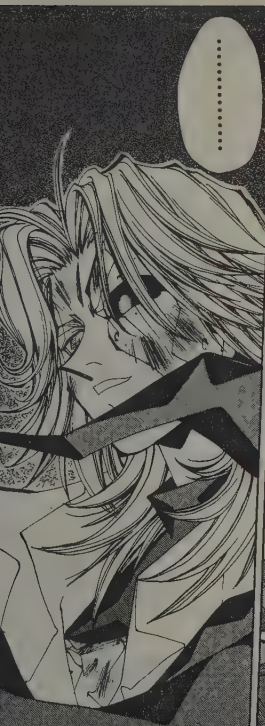


こんろんさんかいぎしつ  
**崑崙山会議室**

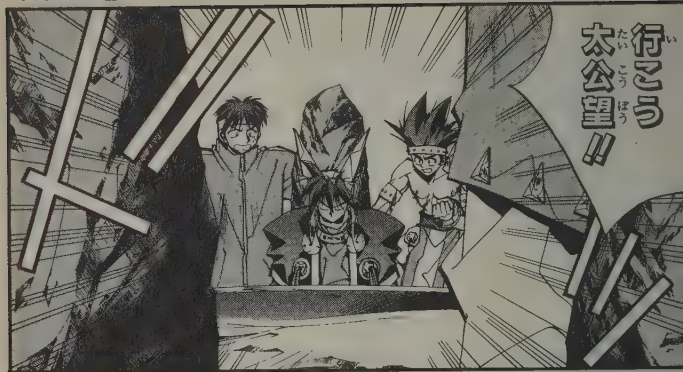


一体  
どういふ事だ  
太公望！

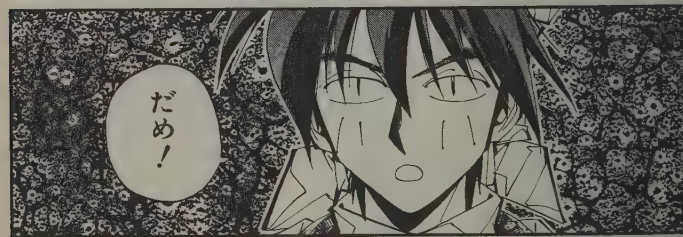
あの玉鼎が  
封神されて  
楊戩までもが  
重体とは！



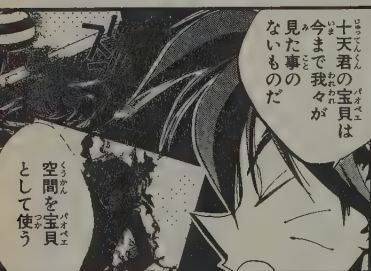




行こう  
たいこうぼう  
太公望!!



だめ!



十天君の宝貝は  
今まで我々が  
見た事のないもの

空間を宝貝  
として使う



空間を?

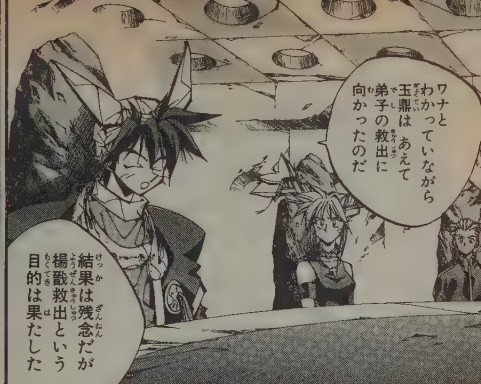


たあ~~~~~  
たいこうぼう  
太公望~~~~~

もううだうだ  
策を練る  
必要はナイゼ!



くも  
口を閉させ  
蟬玉

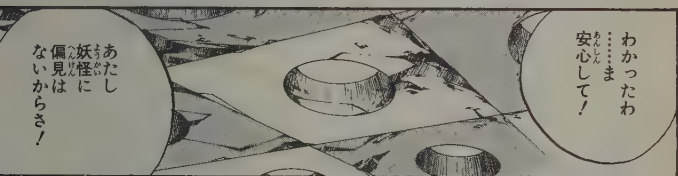


ワナと  
わかっていながら  
玉鼎はあえて  
弟子の救出に  
向かったのだ

けっか  
結果は残念だが  
楊戩救出という  
目的は果たした



ね・ね 太公望  
楊戩の  
正体の事は？



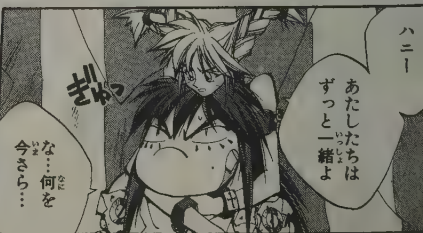
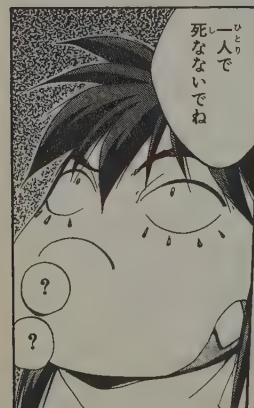
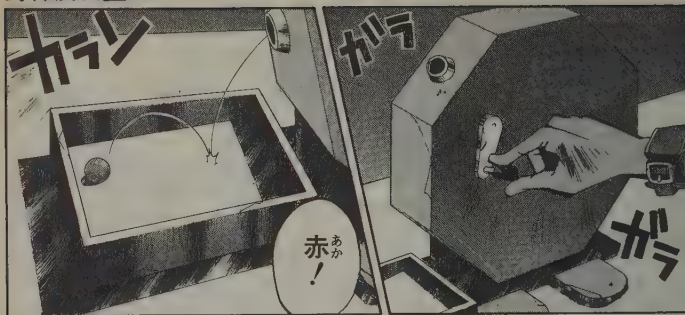
わかったわ  
……ま  
安心して！



おう！  
もはや  
待ったをかける  
理由はねえ！！



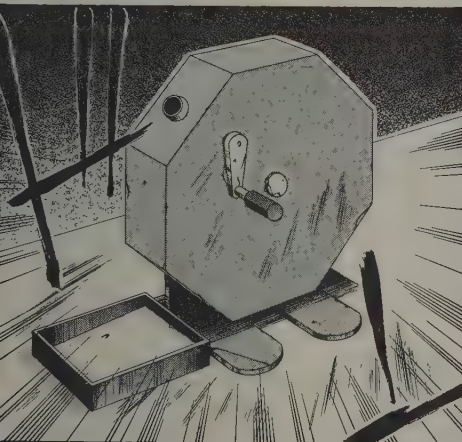
かたき討ちだ！  
今すぐ全員で  
金鰲島に  
乗り込もう！！





全員で  
まとまって行けば  
一網打尽に  
やつらの造る異空間に  
引きずり込まれ  
全滅の危険がある!

故に  
ここは二・三人の  
チームに分けて  
それぞれ別のルートで  
侵入するのだ!!



チーム?

スーブルーよ  
あれを!

ラジャー  
了解ッス!



くじ引きで  
決める  
わけね...





あの子を  
付けまら  
うか？

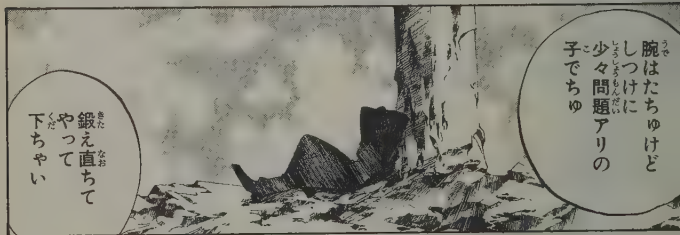
韋護……？



ボクの弟子に  
韋護ってのが  
いて――

そろそろ  
一人前  
なってきた  
ところでちゅ

どうこうてんそん  
道行天尊

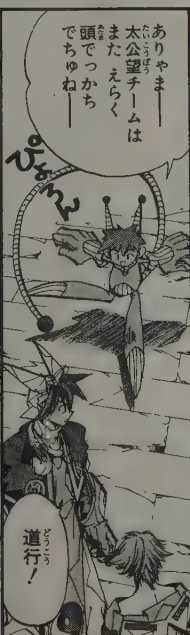
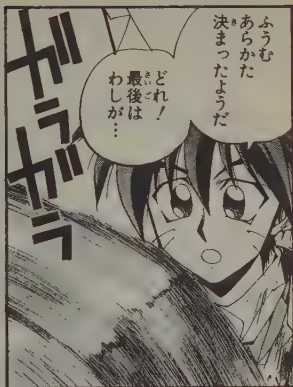
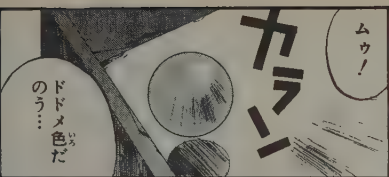


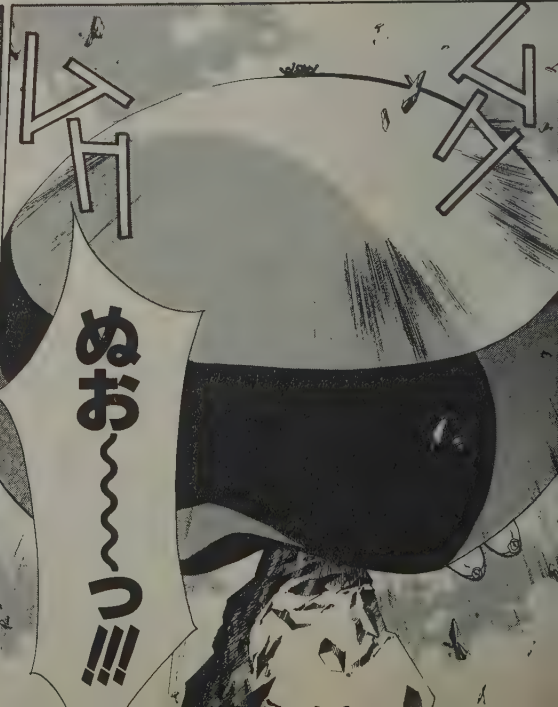
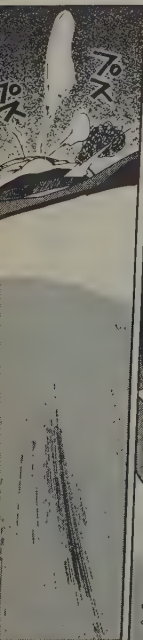
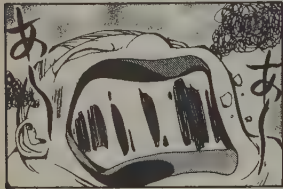
腕はたちゅけど  
しつけに  
少々問題  
アリの  
子でちゅ

鍛え直ちて  
やって  
くだ  
下ちやい

ころ にん げん かい  
その頃 人間界では…







こりあえず  
周軍は  
殷国内から  
一時撤退し！

だが今は  
まだどちらも  
動くまいよ

なんつっても  
両国の軍師  
太公望と聞仲が  
お空の上  
だからな

殷は  
優秀さを取り戻した  
村王の働きで  
力を回復しつつある

たのむさ  
美人三姉妹！

俺たちちも  
あそこに  
連れてってくれ！

ようがす

私も、ちようど  
婚約者・太公望さまが  
心配で心配で  
もうガマンの  
限界でしたの





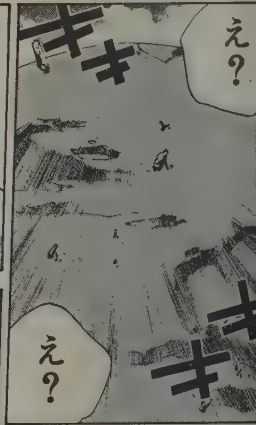
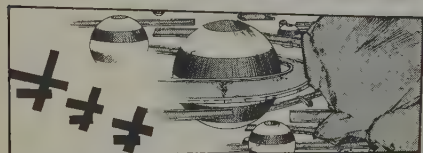
すごいや  
すごいや!!

あの  
アンマン型の  
しまと一直線  
だ——っ!!!



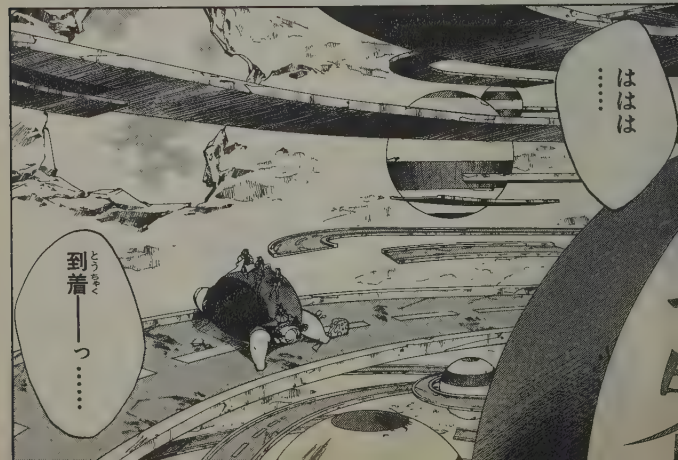
金鰲島に  
行っちゃうじや  
ないのよさ——っ!!

いやあああ  
あああっ!!!



え?

え?



ははは  
……

到着——っ……



だい かい  
第122回

じゅう ぜつ じん たたか

# 十絶陣の戦い

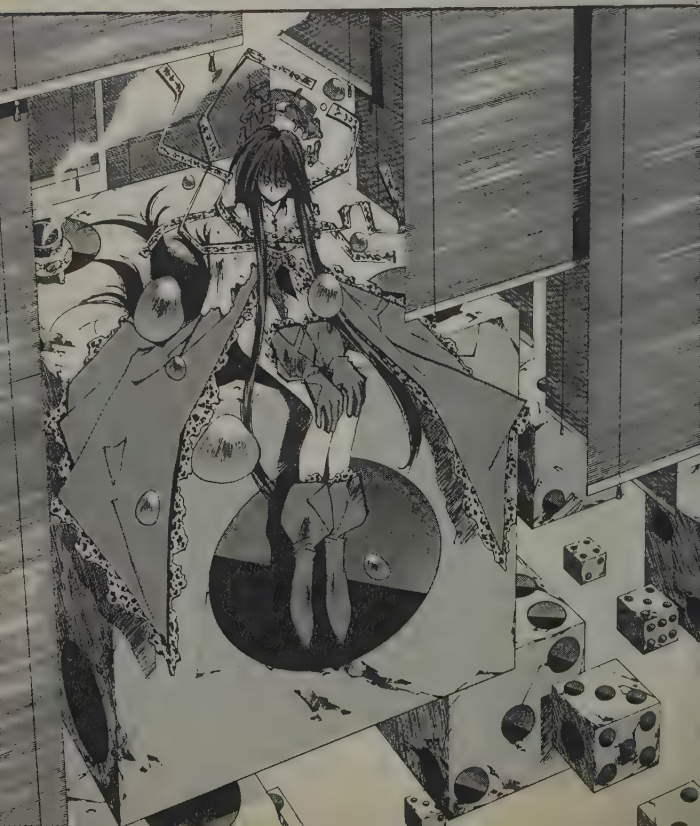
ふう こう じん  
『風吼陣』

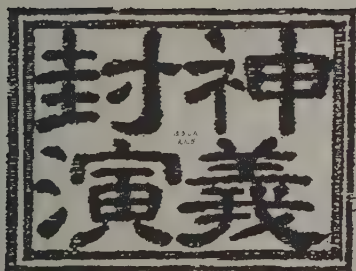
イントウ

ザ

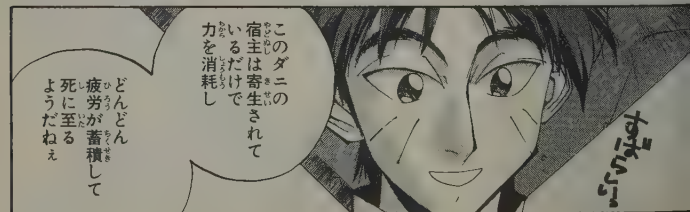
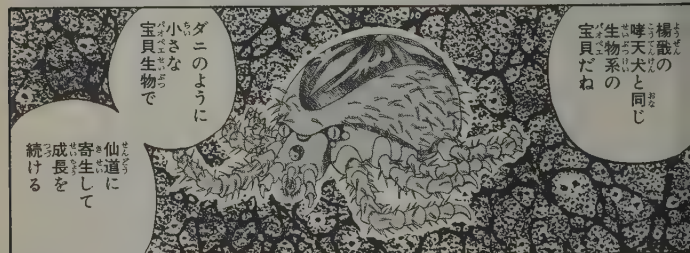
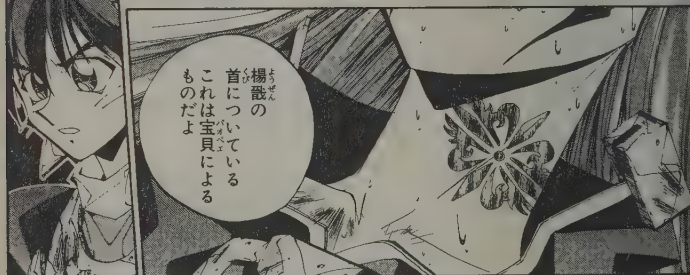
トルネード

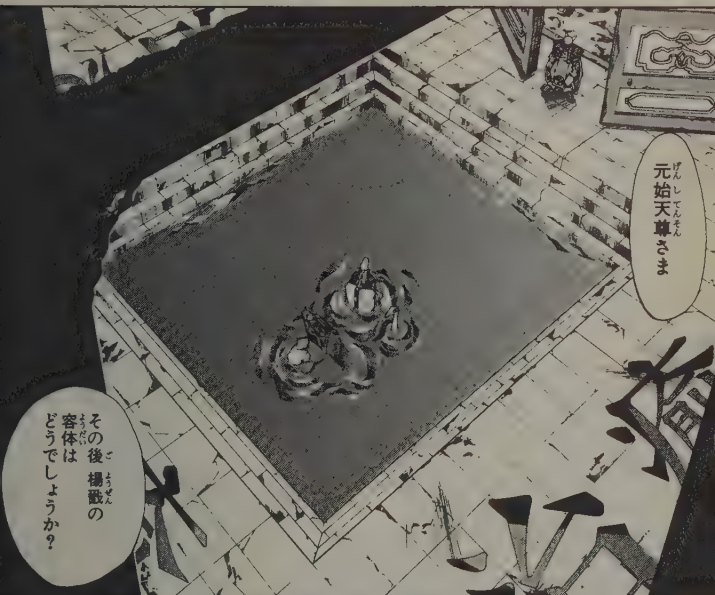
## INTO THE TORNADO





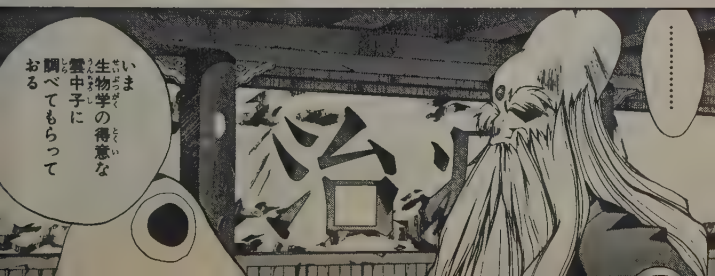






げんしてんそん  
元始天尊さま

その後揚敵の  
客体は  
どうでしょうか？



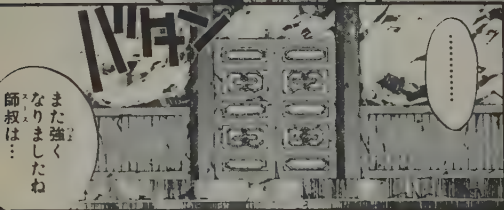
いま  
生物学の得意な  
雲中子に  
調べてもらって  
おる

.....



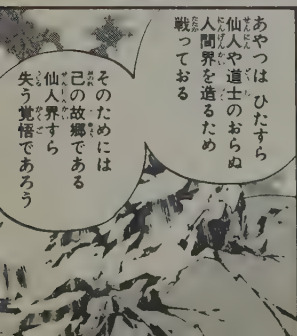
これは  
自分の意志で  
行っておる  
事ですから

いいえ!



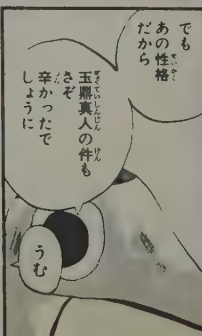
また強く  
なりましたね  
師叔は...

—では



あやつはひたすら  
仙人や道士のおらぬ  
人間界を造るため  
戦っておる

そのためには  
己の故郷である  
仙人界すら  
失う覚悟であらう

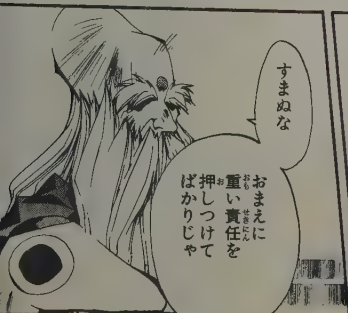
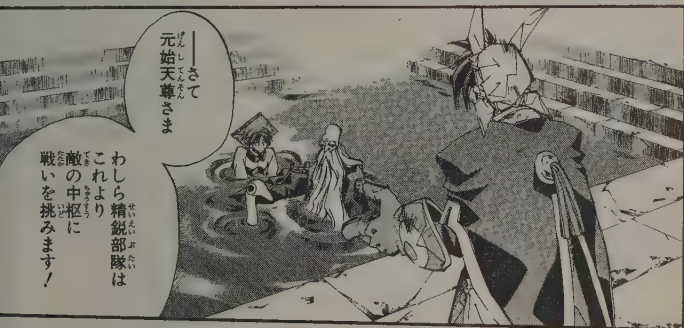
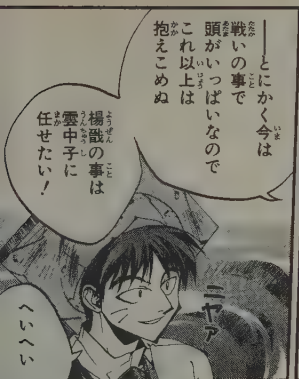


でも  
あの性格  
だから

玉鼎真人の件も  
さぞ  
辛かったで  
しょうに

うむ





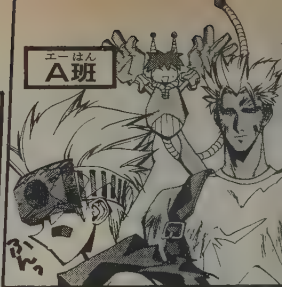




ディーはん  
D班



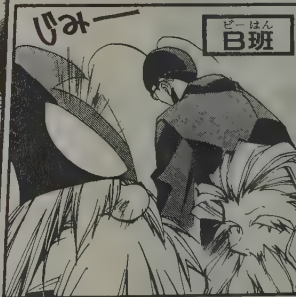
シーはん  
C班



エーはん  
A班



イーはん  
E班



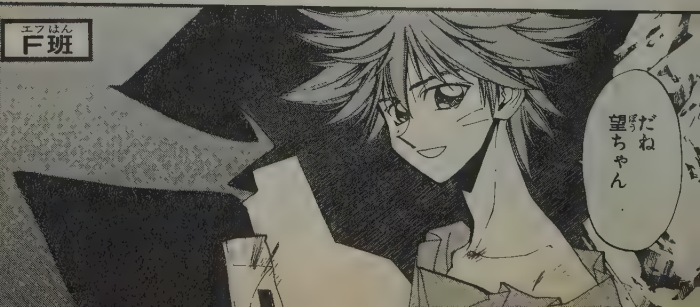
ビーはん  
B班



—そして  
最終的には  
生き残った者  
全員で  
仲間を倒し…

つうてんきょうしゅ  
通天教主と  
たたか  
戦い…

きんげうとう  
金繁島を  
お  
落とす



エフはん  
F班

だね  
望ちゃん

まったく：  
なんという  
わがままで  
一途なやつよ

と辛いだろうが  
その意志を  
全うするまでは  
決して後ろを  
振り返ってはいかんぞ

よいか  
みななもの

十天君以上の敵と  
1対1で  
正々堂々と  
戦ってはいかん！

われわれは  
A班とF班  
計6班に分けて  
ゲリラ戦を  
展開する

これは敵の方が  
様々な面で  
勝る場合に  
とる戦法だ

おおぜい  
大勢で  
一人を  
やつつけるのだ

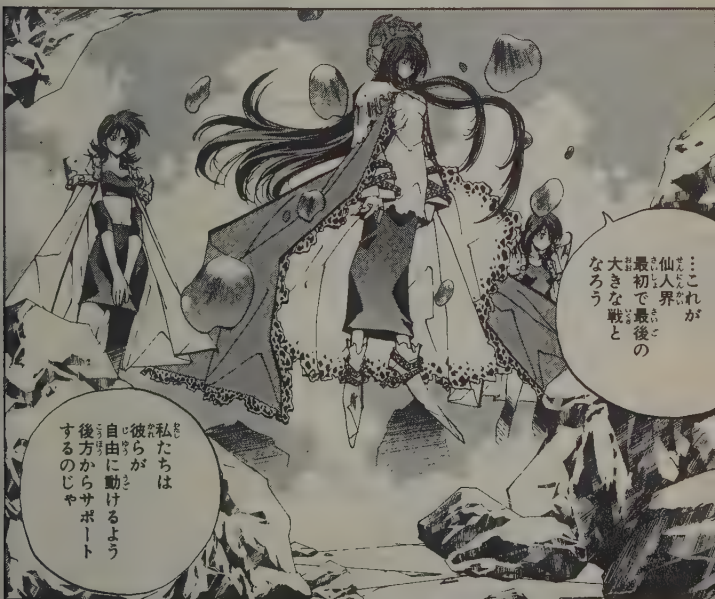




いよいよ  
十二仙までもが  
戦いに  
赴きます…



公主さま

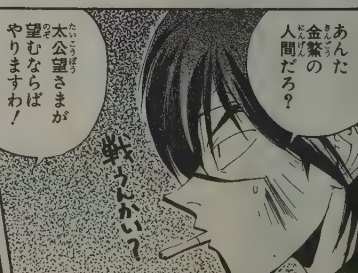
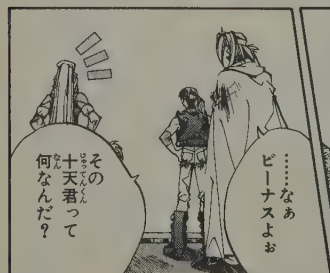
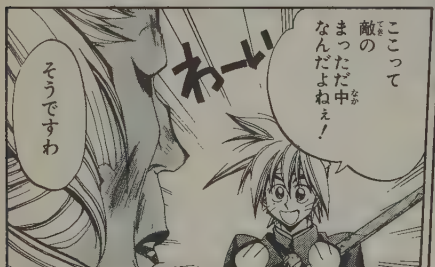
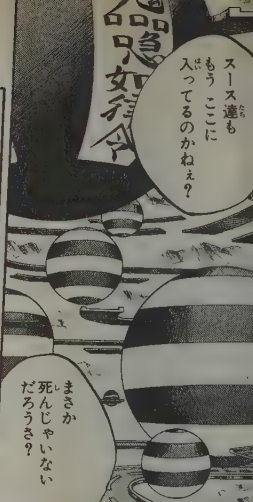
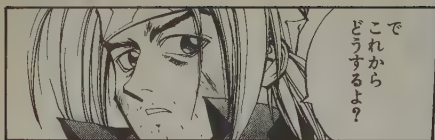


…これが  
仙人界  
最初で最後の  
大きな戦と  
なろう

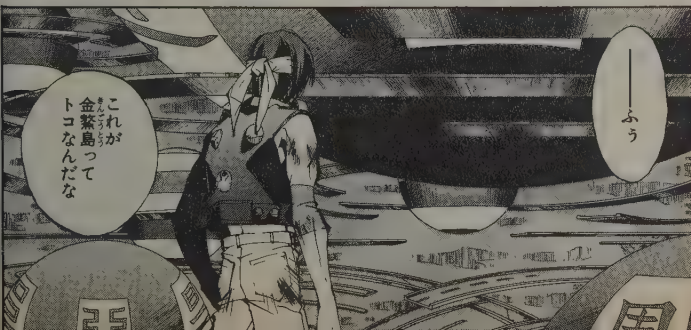
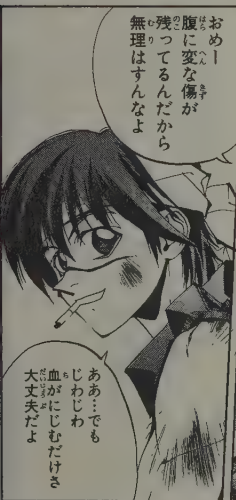
私たちは  
彼らが  
自由に動けるよう  
後方からサポート  
するのじゃ

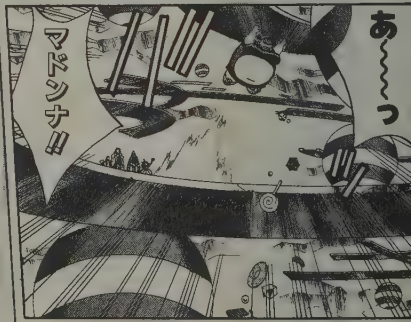
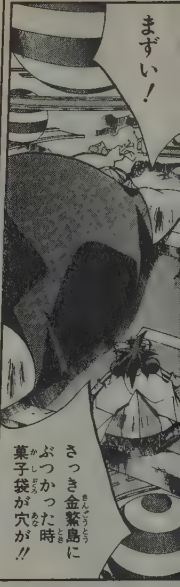
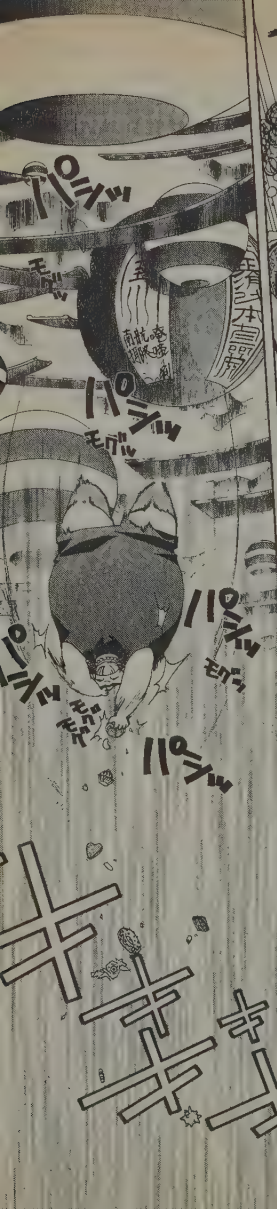
だが……





そのころ  
うんしょうさん し まい  
雲霄三姉妹と  
こういちぞく  
黄一族は…







十天君……  
王天君を頭とする  
彼らは  
金繁島の  
大幹部たち……

空間宝貝  
「十絶陣」を使う  
とても やっかいな  
仙人たちですわ

わけ  
わかんねえ！

ひび  
——ともかく  
こういう  
八角形の印には  
お気をつけ  
あそばせ

それが  
異空間への  
入口ですから

ふん

はく  
はく

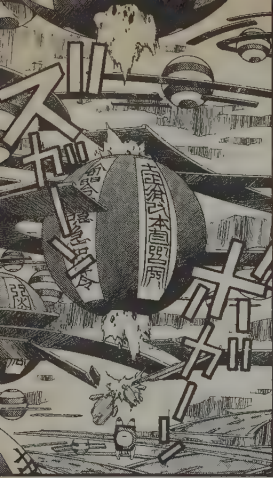
あつ……!!!

バラ

バラ

ピッピ





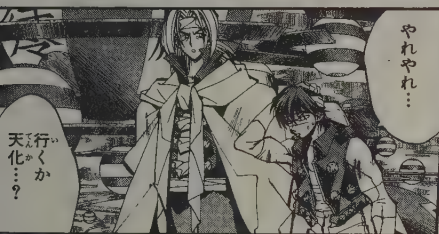


駄菓子<sup>だがつし</sup>を  
喰<sup>く</sup>いながら  
落下<sup>らくか</sup>してゆくさ…

ぼくも!!!

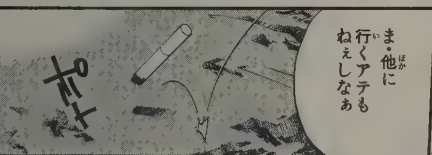
私<sup>わたし</sup>たちも  
行<sup>い</sup>きましよう!!

ぼくも!!!

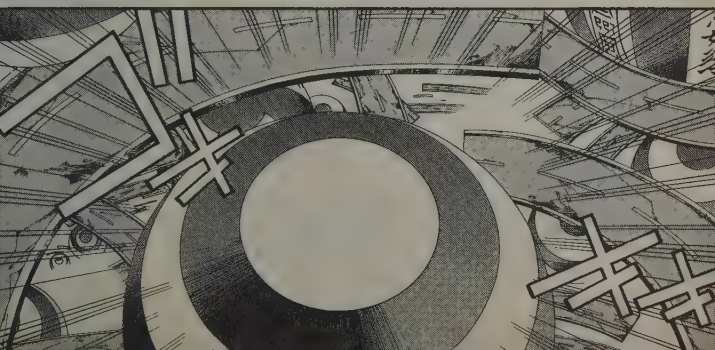


やれやれ…

行く<sup>いく</sup>か  
天<sup>てん</sup>化<sup>か</sup>…?



ま・他<sup>ほか</sup>に  
行く<sup>いく</sup>アテも  
ねえしなあ



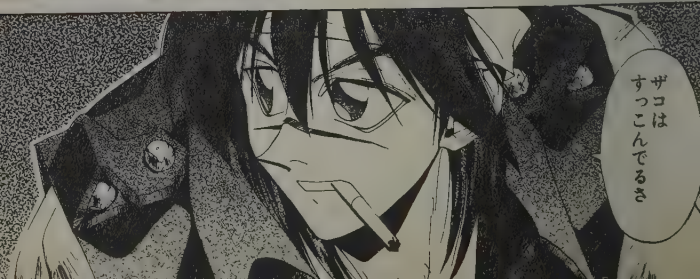


か？



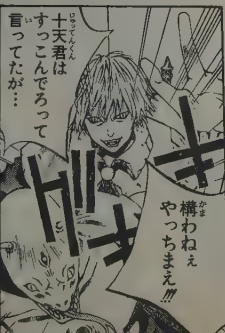
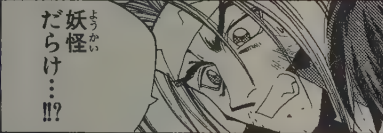
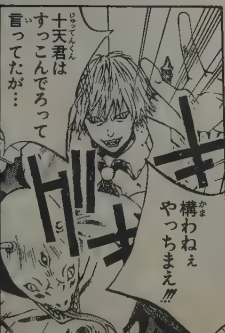
やま  
ぢ

うあ……

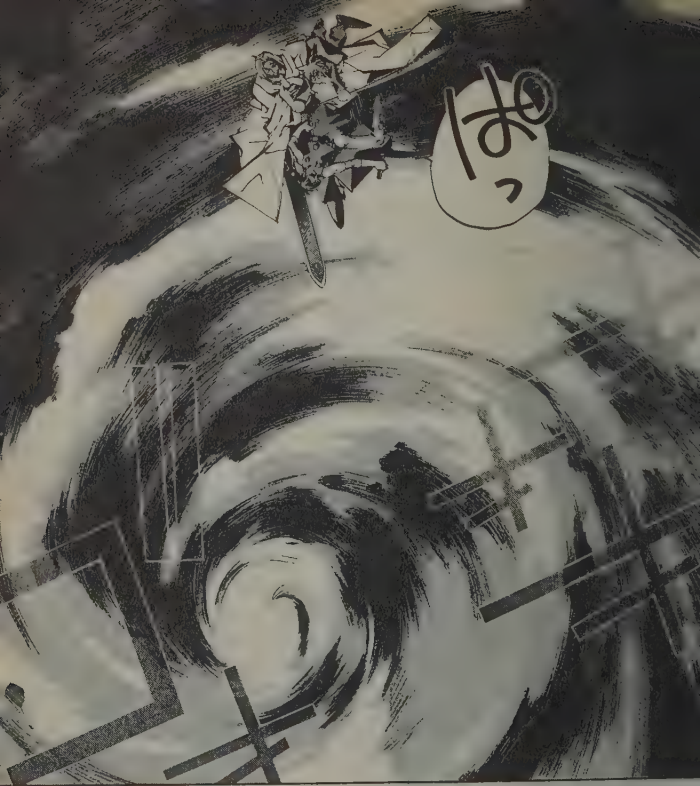


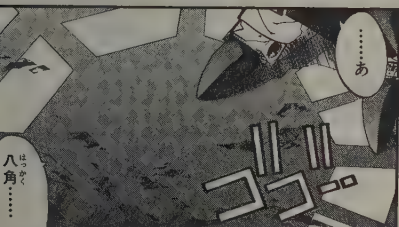
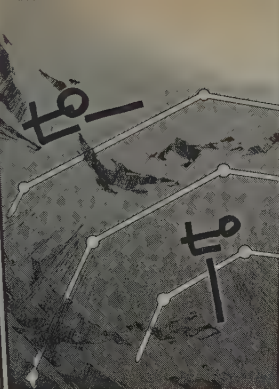
ザコは  
すっこんでるさ







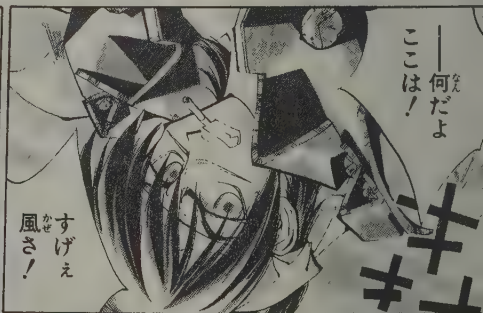
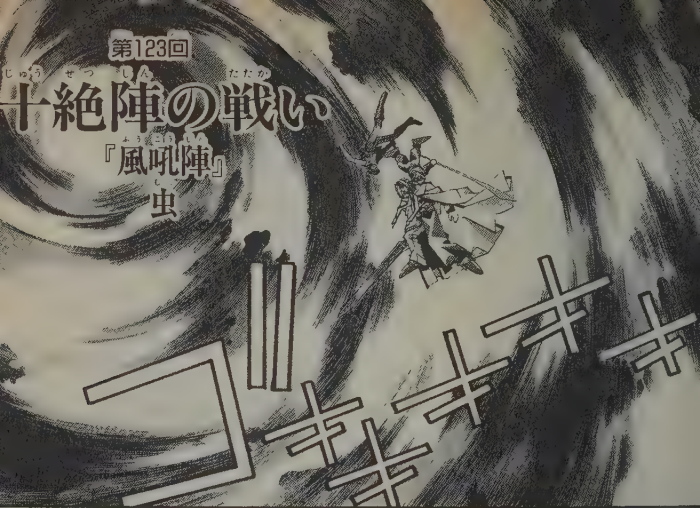


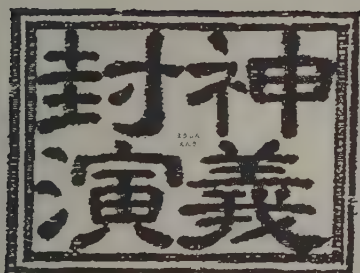


# 十絶陣の戦い

『風吼陣』

虫









だい かい  
第123回

じゅう

せつ

じん

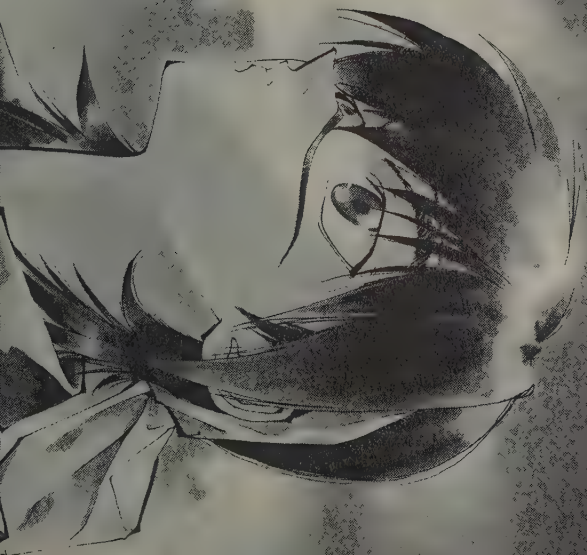
たたか

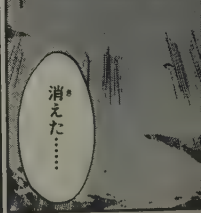
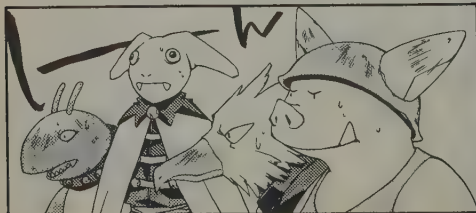
# 十絶陣の戦い

ふう こう じん  
『風吼陣』

むし

虫





べつ よ  
別に読まなくてもいいけど  
ページがあいたの

トウェルヴ



だぶん



XII

△僕はときどき半魚人のことを考える。

△静岡県清水市への日帰り旅行の帰途に見た国道横の電車の中に、なぜか半魚人が乗っているような気がした”のがそのきっかけだ。

△と、ゆうわけで今回は”彼ら”についての僕の考えを書く。

△直立二足歩行をし、ウロコがあり、ついでにエラと水かきもついている水色のモンスター……僕の半魚人想像図は、これに近い。この外見

的なイメージは、みなさまとさほど違いはないと思う。

△勝手な想像を続ける。

△半魚人が人類と魚類の間に生まれた生き物と考えたらどうだろう？

△その場合には、半魚・人は「半分だけ魚な人」だからハーフ。半・魚人は「半分だけ魚人」だからクウォーターだ。

△もちろん半魚人が魚類の進化した形だとすれば、この言葉遊びは成立しない。

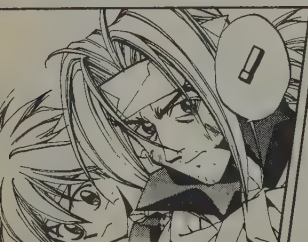
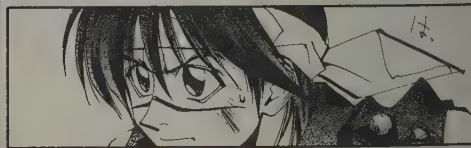
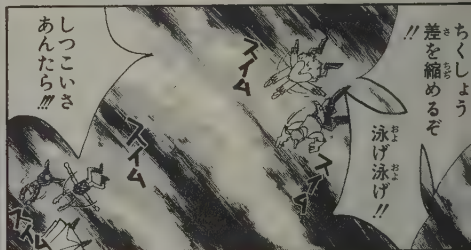
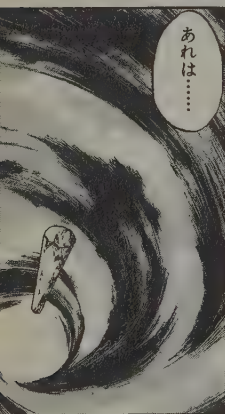
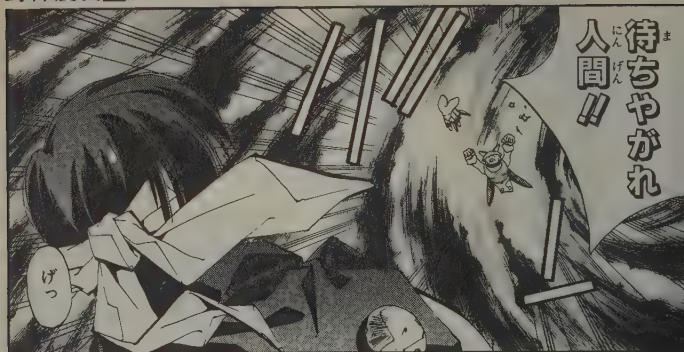
△人類の進化の過程を考えたとき、水中から陸上へと最初に進出した生き物は両生類だと誰かが言った。それからハ虫類やホ乳類へと進化してゆくらしいが、半魚人の場合はやはり両生類に分けられるべきであろうか？

△僕は…やっぱり両生類だと思う。

△たとえ半魚人に人類にひけをとらない知能があったとしても、水と陸のどちらでも生活できる限りは両生類なのだ。生き方が違えば考え方も自然に違ってくるものである。だから人類と半魚人の間には、埋められない深い溝が日本海溝のように横たわっている。

△たとえ彼らが服を着て、机を並べて供に働いていたとしても、根本的な違いを消し去ることはできないのだ。





じゅってんくん  
十天君が  
なんぼの  
もんじゃい!!

おれたち えもの  
俺達の獲物を  
横取り  
しやがって!!

おれ なか  
俺は中に  
入るぜ!!

おう!  
おれ  
俺も行くっ!!!

ちつくしょう  
この竜巻…

どこまで  
続いて  
やがる!?

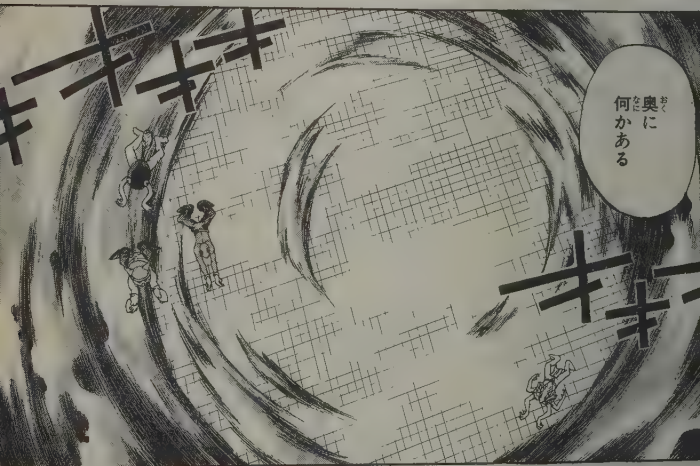
ま  
待て—っ!!!



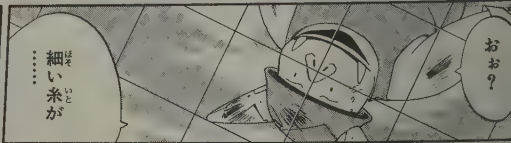
スィム  
スィム  
スィム!!!



だー  
もど  
もど  
戻れ  
戻れ!!!

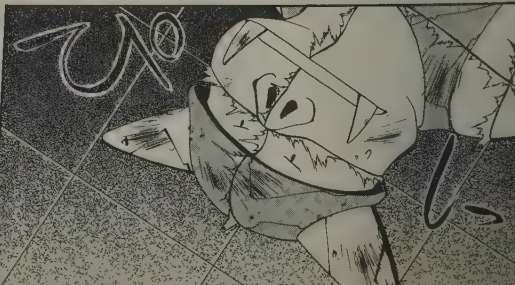


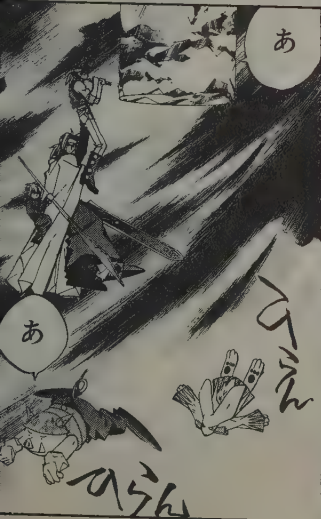
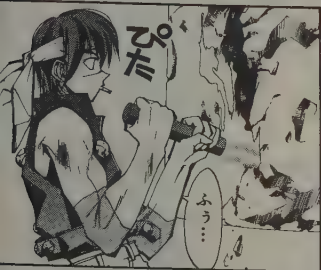
おく  
に  
奥に  
何か  
ある



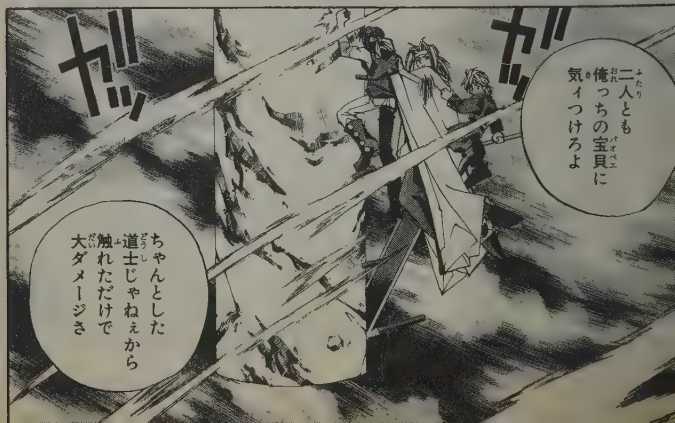
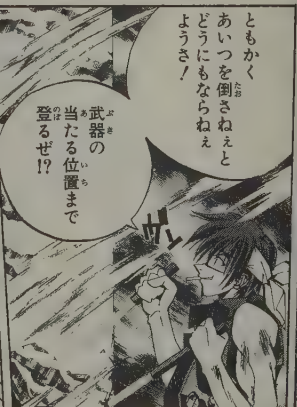
ほそ  
いと  
細い糸が  
.....

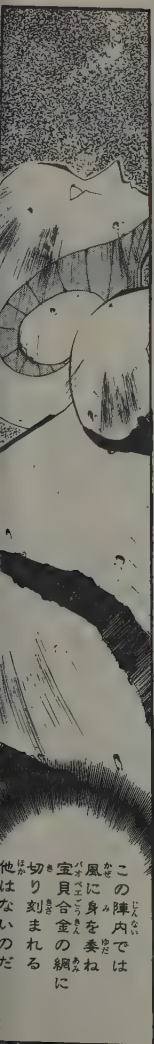
おお?









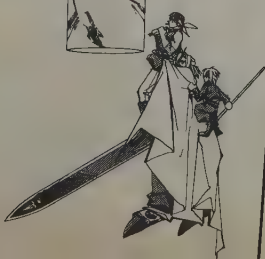


この陣内では  
風に身を委ね  
宝貝合金の綱に  
切り刻まれる  
他はないのだ



この董天君の  
『風吼陣』に  
入る事は

『死』と  
同義語であると  
いうのに…

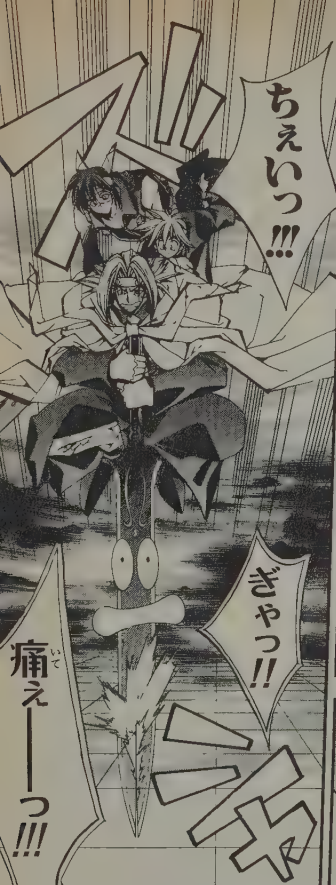


うわ

ぎや



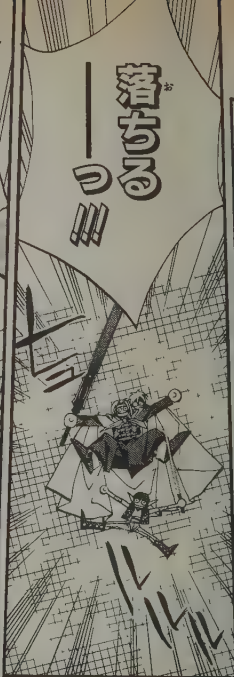
おろ  
愚かな…



ちえいつ!!!

ぎゃっ!!

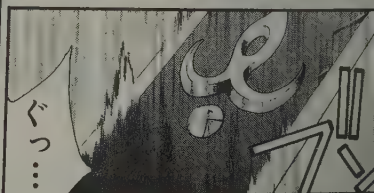
痛えーっ!!!



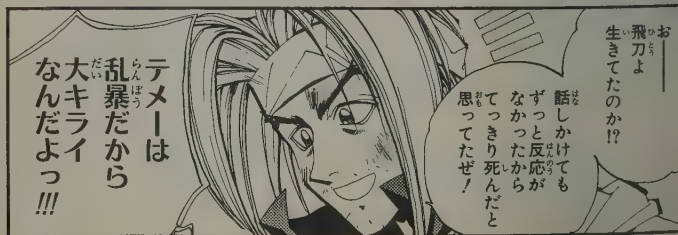
お  
落ちる  
っ!!!



げっ!!!



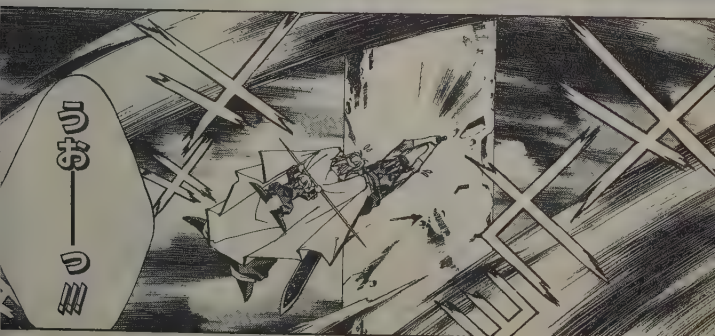
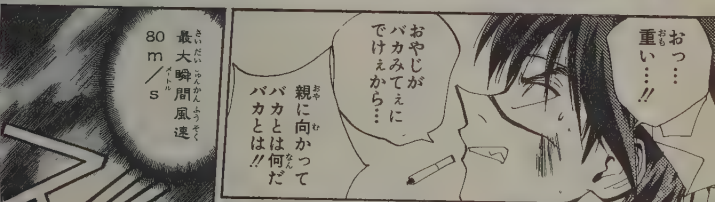
ぐっ...



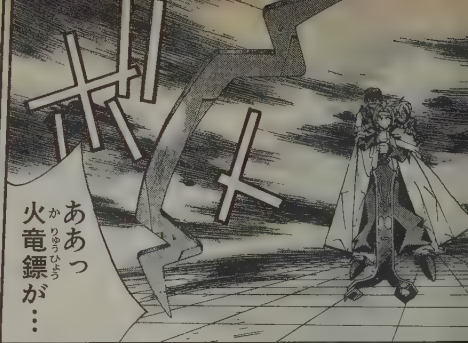
お  
飛刀よ  
生きてたのか!?

話しかけても  
ずっと反応が  
なかったから  
てっきり死んだと  
思ってたぜ!

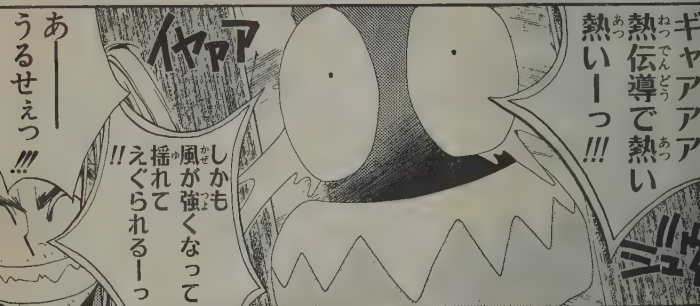
テメーは  
乱暴だから  
大キライ  
なんだよっ!!!







ああっ  
かりゅうひょう  
火竜鏢が…



ギヤアアア  
おっでんどう  
熱伝導で熱い  
あっ  
熱いーっ!!!

イヤア  
しかも  
かぜ  
風が強くなつて  
揺れて  
えぐられるーっ  
!!!



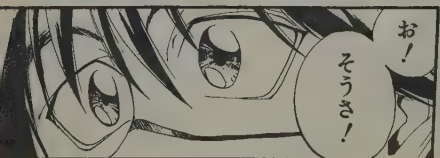
ちくしょう  
あの虫  
俺たち達を  
見向きもしねえ

完全に  
ナメてるさ

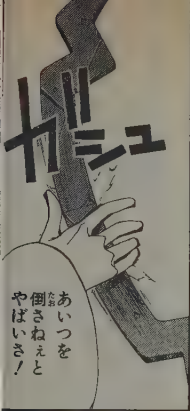


なっ…  
何はともあれ  
事態はより一層  
悪化したさ…

うう…  
サイコロステーキに  
なるのはやだぜ…



お!  
そうさ!



あいつを  
倒さねえと  
やばいさ!

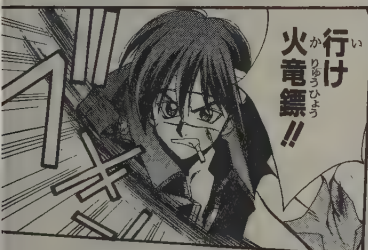


とにかく!

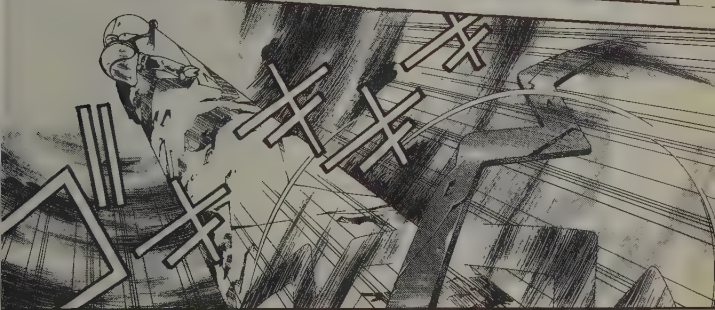


うわ——っ  
痛えよ——っ  
死ぬ——っ!!!

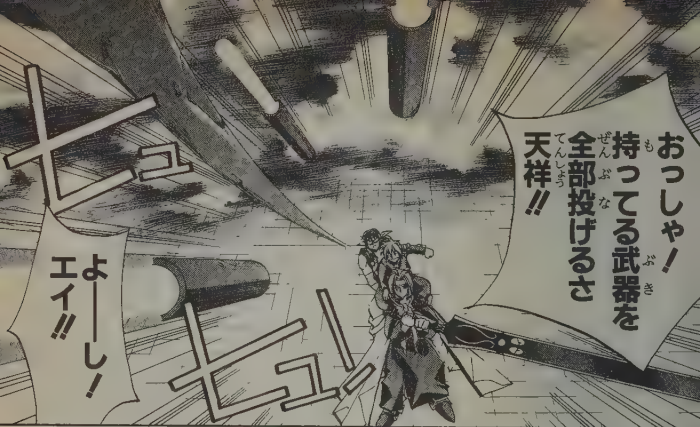
じゃかあしい!  
だまれテメエ!!



行け  
火竜鏢!!

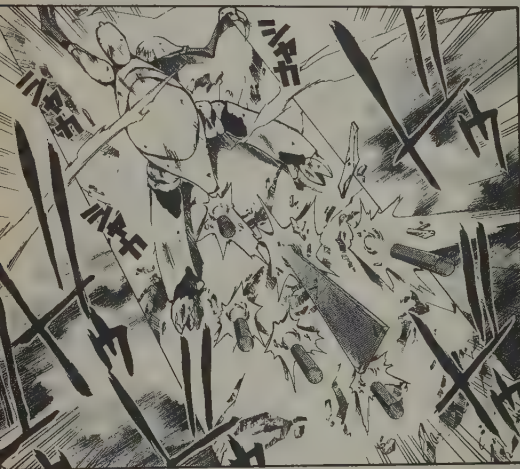


最大瞬間風速  
100 m/s



おっしや!  
も  
持ってる武器を  
ぜんぶな  
全部投げるさ  
てんしょう  
天祥!!

エイ!!

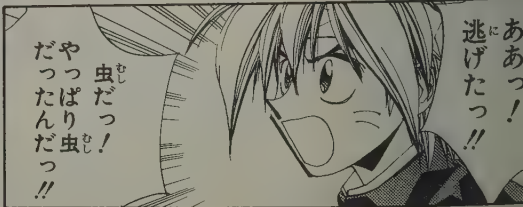


クッ……

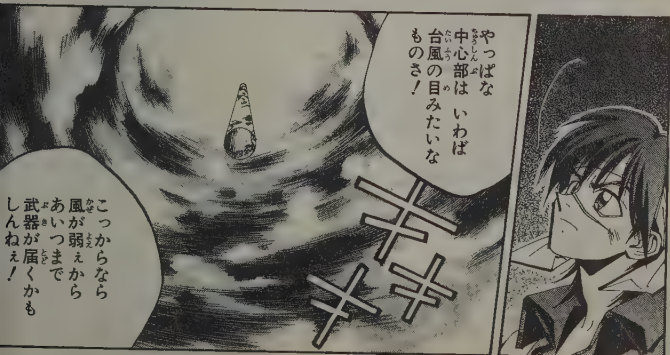
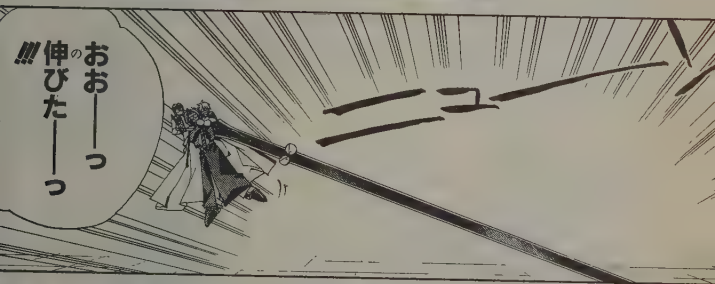
おろ  
愚かな……



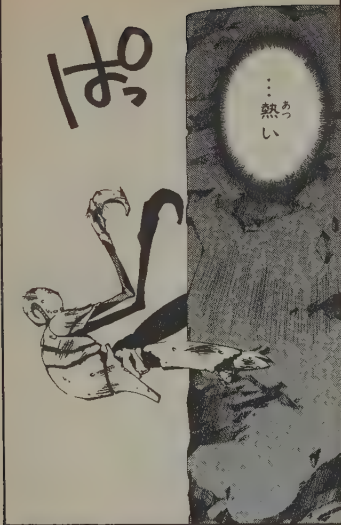
虫だっ!  
虫だっ!  
やっぱり虫だっ!!



ああっ!  
逃げたっ!!







これで  
おまえ達に  
武器は  
無くなった

さいだいじんかんふうそく  
最大瞬間風速  
120 m / s

うしか見てねえ  
おめーからは  
見えねえ  
だろうなあ

もう一本の  
火竜鏢が  
どこにあっかよ

なに  
何？

む…？

もう  
あきらめて  
肉塊となれ

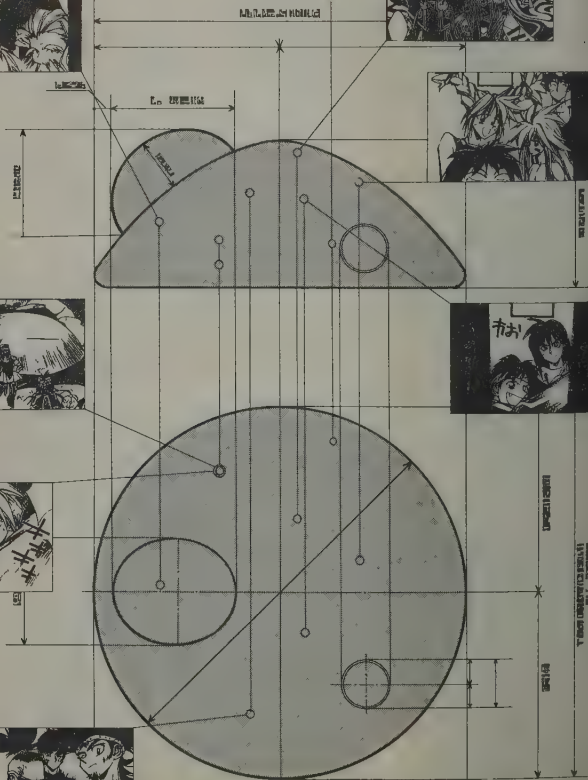


じゅう ぜつ じん たたか

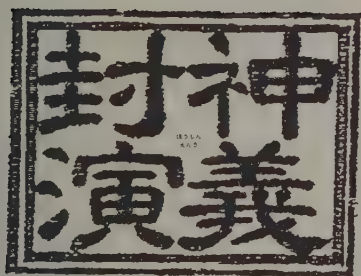
# 十絶陣の戦い

かん びょう じん  
『寒氷陣』

ニューロマンティック



きんこうとうない ぶ たいこうぼう げんざい ぶん ぶ  
金鯨島内部における太公望たちの現在の分布図





……  
聞仲を探す

——って  
言いてえ  
ところだが……

……  
俺が会ったとして  
今さら何言っても  
あいつは  
聞いちやくれねえ  
だろうな……

——って事で  
下に落ちてった  
美人三姉妹でも  
追ってみつか!!

そうだなあ

放つとくわけにも  
いかねえかね

まだ落下中

さあ  
何してるさ天祥  
おやじに揃まれ!

うん……

ん——?







なにこれ？

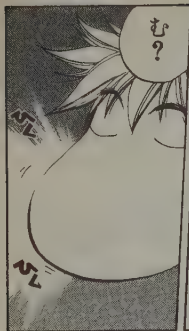
小さい虫……？

クククク

こっちだけ  
やられっぱなしに  
なるわけにや  
いかねえんだ

カリッ





む？



何だスー  
腹が  
へったのか？

う……だって  
もう二日も  
金紫島の中を  
飛び続け  
てるんすよ！

太公望専用黄巾力士・太乙真人作



道行天尊の  
弟子の  
「掌護」って子は  
いつ合流するの  
かなあ？



モモの匂いが  
するっス！

さては御主人  
ふところに  
モモを隠し持っ  
てるっスね！

う

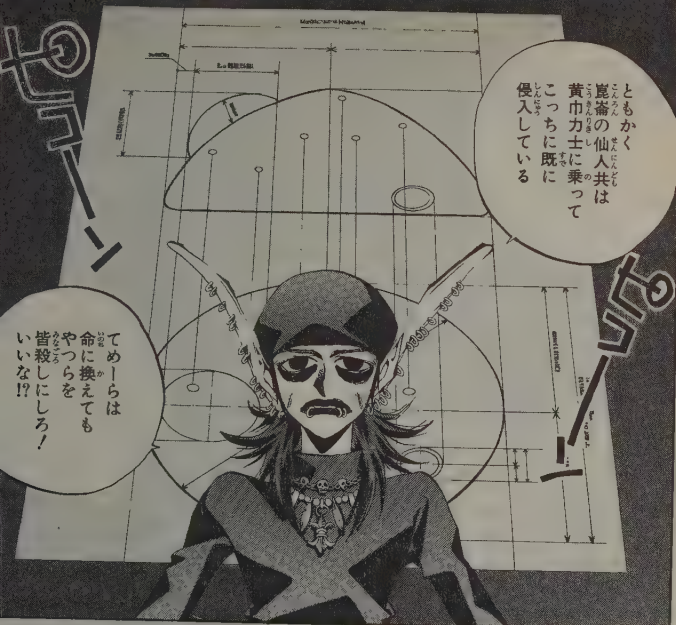


ところで  
望ちゃん



やらぬぞ！  
非常食のモモ  
だからのう！

今がその  
非常時っス！！



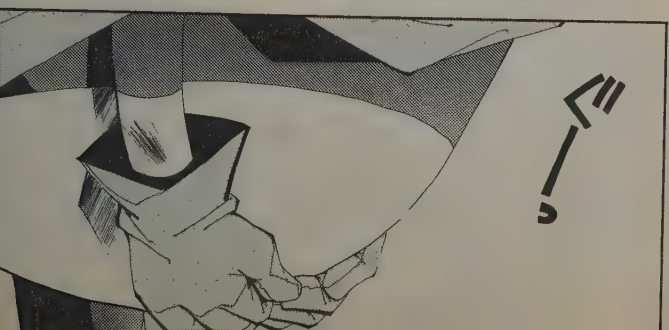
ともかく  
崑崙の仙人共は  
黄巾力士に乗つて  
こつちに既に  
侵入している

てめーらは  
命に換えても  
やつらを  
皆殺しにしろ！  
いいな！

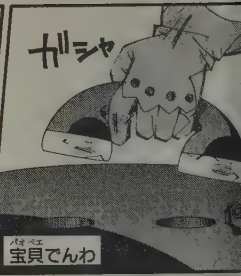


もちろんだ

ああ……

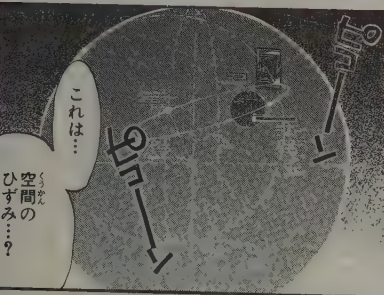


！！





ん？



これは…

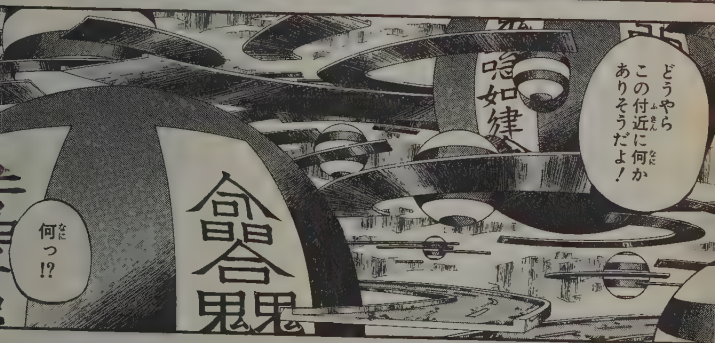
空間の  
ひずみ…？



さあ…

かなりの  
怠け者らしい  
からのう…

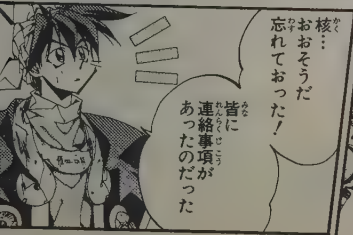
へエ…じゃあ  
望ちゃんと  
気が合うかもね



どうやら  
この付近に何か  
ありそうだよ！

命  
鬼

何っ！？



核…  
おおそうだ  
忘れておった！

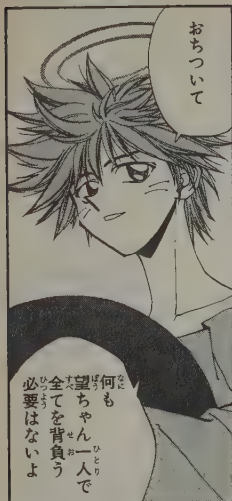
皆に  
連絡事項が  
あったのだった



れっ…例の  
聞仲さんのいる  
「核」っすかね？

さあ  
そこまでは





しかし  
たとえ「核」を  
発見したとしても  
聞仲に手を出しては  
ならぬ！

まずは  
きやつの周りにおる  
うるさい十天君を  
やっつけて  
しまうのだ！！

望ちゃん  
少しカリカリ  
してるね

どうしたの？

ぶん

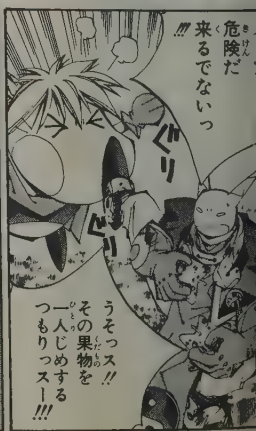
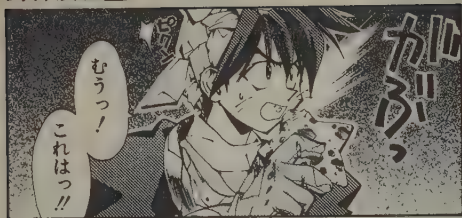
命令違反は  
許さぬからな！

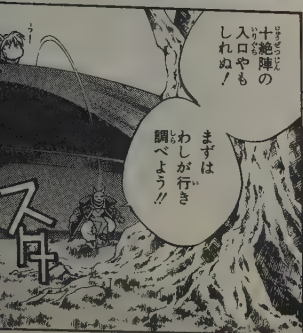
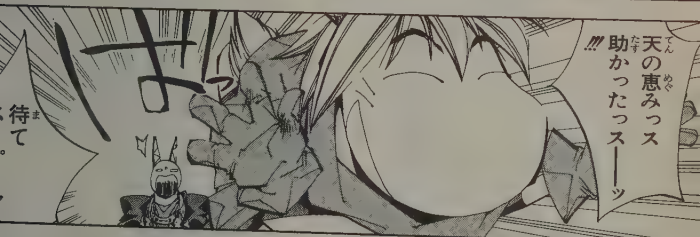
なによ——

太公望のやつ  
感じ悪——い！

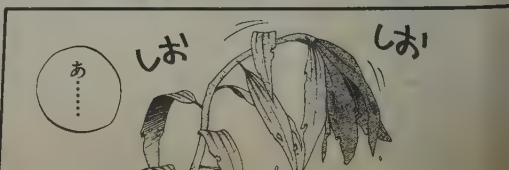
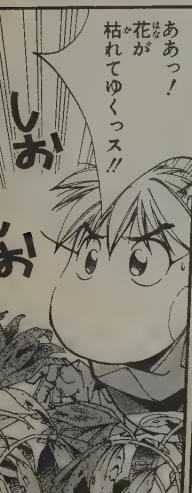
べつ……  
別に  
カリカリ  
など……

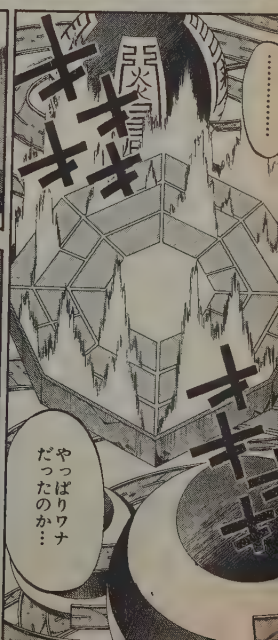
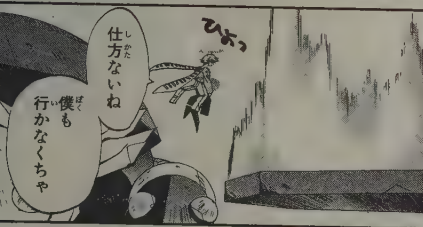
以上！！











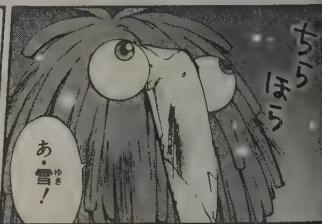


何だあの  
ロマンチックで  
穢らわしい  
毛玉は？

十天君じや  
ないの？



地面から  
氷が…



あ・雪！



ぬおーっ!!!

花の命は  
短い…

暖かい季節に  
栄華を  
極めては

寒さと共に  
散華する

ところで この私  
袁天君は  
寒さという死を  
もたらす者にして…

この寶貝空間  
「寒氷陣」を  
支配する者なり

足を  
踏み入れたる者は  
この花のように…

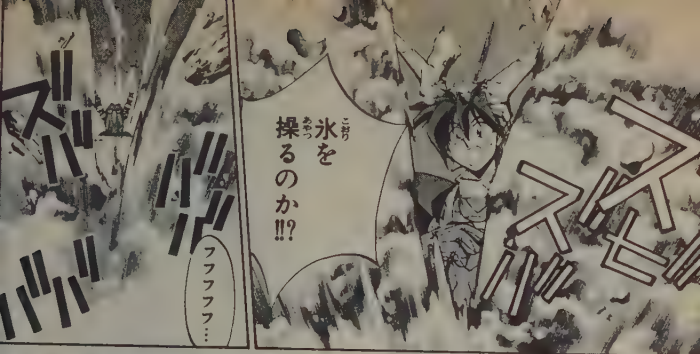
あわれ  
枯死

しお

しお







こり  
氷を  
あち  
操るのか!!!

フフフフ...



おやおや

煙まっ  
しまわ  
れたの  
かな—?

「これからどうする&どうなる!?



▲十天君から解放された蘭仲は科王の下へ、だが、そこに見たのは娘己の存在さえも忘れられた王の姿だった。新たな娘己の無路を感じとつたはずだ…

「冷酷。今の蘭仲には、この言葉がよく似合う。かつて十天君から受け取った仕打ちや王天君の態度から推し測ると無理もないが、真の理由は靡高山に勝利した後、娘己をも倒さねばならぬという使命感からなのだろう。靡高山破壊が未遂に終わった今、靡高山攻略はギリギリまで十天君に任せ、自らは対娘己戦まで体力を温存するつもりなのだ。」



▲黒龍城と共に娘己も蘭仲との再会を果たした4人。蘭仲の命によって科王監視を請け負っているが、蘭仲の身に異変が起これば、首魁7つかるだろう。

## 十二仙



秘められた能力とは!?

太公望を強力サポート! 秘められた能力とは!?



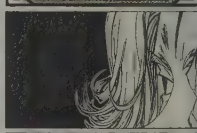
▶太公望が「蘭ちゃん」と呼ぶ普賢真人。彼笑を欠かさない態度が、強さの表れだといののだが。

▶対孫天君戦で、突出した剣技を見せた玉龍真人。弟子の輔を感ずる気持も人倍だつたが為、天君の策にはまる結果に…果たして…



つぶす!!

## 聞仲



▼王天君の反抗にも冷仲、感情を押し殺した。孤独を突きつめた感がある。

▲股軍における蘭仲の腹心。妻・高麗英と無敵・麻存は初めて明らかに外見以上に蘭仲の信頼が厚い。対蘭仲戦を任せられたらも明ら。つまり蘭仲の強さを感じて十分勝てるうのだから、甘くは見られ



この記事は、週刊少年ジャンプ平成11年6号に掲載されたものです。

封神  
演義

# 秘 諸氏百科

Part 11  
仙界大戦編

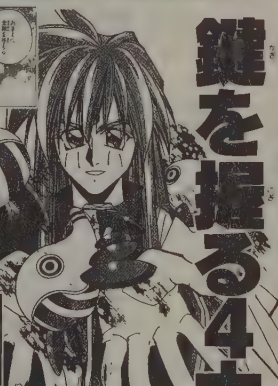
なきややられる / 太公望最大の試練「仙界大戦」がついに始まった//この闘いの鍵を握るのは、  
側では楊戩と十二仙、金鵝側では聞仲と十天君。太公望の運命を左右する彼らを徹底分析//

して似ている親子には見えないが、実力は  
の血を受け継いでいる。成長次第では、  
短己とも対等に戦い合えそうなのだが…



▲身の危険を察してまで、  
鳳凰山を救った楊戩。だが  
更なる悲劇が待っていた…

## 楊戩

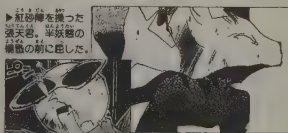


## 鍵を握る4大キヤラ



かつてなき邪悪な敵!  
真の目的は!?

奇しくも聞仲が「狐と似  
ている」と表現したよう  
に、王天君は楊戩と金鵝  
の戦いを牽引している節  
がある。まるで今は存在  
を隠した姐己のように、  
聞仲に対しては、バリア  
解除をみすみす見逃した  
かと思うと、楊戩を人質  
として利用する等、状況  
で立場を変えている。現  
時点での真意は計りかね  
るが、宝貝・紅水陣は鳳  
凰側にとって最大の脅威  
となるはずであり、聞仲  
に次ぐ強敵になりそうだ。



◀遊びで負けた者を人形  
にする化血陣を操った王天  
君。鎮魔戟で太公望に敗北。

## 王天君&十天君

り血で紅水陣を逆り上げる王天君。  
非道な陣で十二仙前の犠牲者が?

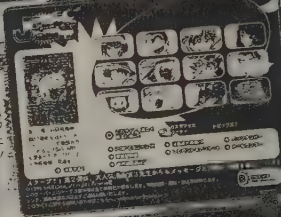




アドレス→<http://www.jump.ne.jp/>

インターネットの方でも多くの書き込みをいただいております

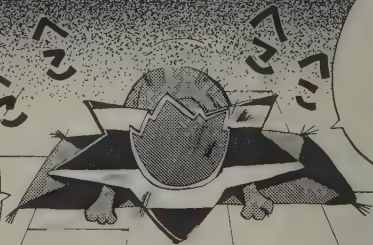
かなり参考にさせてもらっているので優しく厳しい意見をこれからよろしく



キャラメール

↑ '99 3月現在

本当に読者さまにはよくしてもらって何もお返しできないのが心苦しいございます

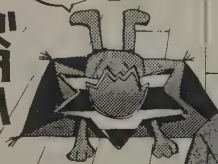


今さらながら思うけど藤崎も多くの人に支えられて生きてるんですね

藤崎さんこの原稿のベ切もとづくにすぎているんですけど

印刷所の人にも迷惑がかりますし

すみませんごめんなさい許して下さいかんにんです



友の影

# 新崖絶壁 今何処 六拾六

藤崎の単行本を  
担当してくれてた  
編集プロダクションの  
木下さん  
デビュー当時から今まで  
ありがとうございます

④シマ氏は「週刊少年  
ジャンプ」の編集者。  
木下さんたちは  
編集プロダクションの  
方々です。

そして  
新担当の宮脇さん  
お切やぶりは  
おおめにみて下さい  
よろしく願います



感謝ついでに言うけど  
（ついでかい！）  
皆様からの  
手紙やハガキ、貢ぎ物など  
いつも感謝にたえません  
苦しゅうない

バレンタイン・デーには  
たくさんチョコやコーヒー  
中には草加せんべいや  
コンニャクゼリーをくれた  
奇特な人もありました

かなりの量を  
いただきましたので  
返事はもはや  
人間の力では  
不可能です

大好物の  
コーヒーは  
すでに全部  
一人で飲みましたよ  
おいしいノ

ザン!!

連載が  
終了してからと



■ジャンプ・コミックス

## 封神演義

『安能務訳「封神演義」』講談社文庫刊より

### 14 十絶陣の戦い・上

---

1999年4月7日 第1刷発行

著 者 藤 崎 竜

©Ryū Fujisaki 1999

編 集 、 ホ ー ム 社

東京都千代田区一ツ橋2丁目5番10号  
〒101-8050 電話 東京 03(5211)2651

発行人 山 下 秀 樹

発行所 株式会社 集英社

東京都千代田区一ツ橋2丁目5番10号  
〒101-8050

03 (3230) 6233 (編集)

電話 東京 03 (3230) 6191 (販売)

03 (3230) 6076 (制作)

Printed in Japan

印刷所 中央精版印刷株式会社

---

乱丁・落丁本が万一ございましたら、  
小社制作部宛にお送り下さい。送料は  
小社負担でお取り替え致します。

本書の一部または全部を無断で複写、  
複製することは、法律で認められた場  
合を除き、著作権の侵害となります。

ISBN4-08-872698-7 C9979

別に読まなくてもいいけど  
ページがあいたので

サーティーン

駄文

だぶん

文

XIII

△魚の干物はすごく臭くて、僕は嫌いだ。

△でも半魚人は乾いたら臭いのかな？

△僕はものしりの友人「K」先生に、さっそくこの疑問をEメールしてみた。

△ところで「K」先生は、日本における半魚人研究の第一人者らしい。

△本人がそう言い張るからにはそれに間違いはないと思うけど、読者様は信用しない方がよろしいです。

△「K」先生からの返信メール。

△半魚人研究の最先端をいくロシアには学会の異端児Dr.セコビッチって人がいて、彼をリーダーとして調査が進んでいるそうだ。

△彼の説によると、半魚人にも様々な種があるらしく、日本に生息しているのは黒潮に乗ってやってきた南方系と、親潮に乗ってやってきた北方系のハーフが多いらしい。北方系半魚人は主に海草を食べるから、小魚を主食とする南方系よりも体臭はキツくない。だから、日本にいる南北ハーフ半魚人は、メンデルの法則により「さほど臭くない」であろうことが予測される。

△しかし、干物にした場合のことは考えもしなかった。

△さっそくI H R O (International Hangyojin Research Organization 世界半魚人調査機構) に連絡をとってみるよ。

△竜ちゃん、新しい問題提起をありがとう！

△……だってさ。

△僕には変な友人が多いです。

駄文 終わり





B A S T A R D !!	1~20	萩原 一 至
影武者徳川家康	1~6	原 哲夫
SAKON=戦国風雲録=	1~4	原 哲夫
S L A M D U N K	1~31	井上 雄彦
ジョジョの奇妙な冒険	1~62	荒木 飛呂彦
B Ø Y -ボーイ-	1~33	梅澤 春野
地獄先生ぬ〜べ〜	1~29	真倉 山岡
N I N K U -忍空-	1~9	桐 山 光伸
るろうに剣心-明治剣客浪漫譚-	1~25	和 月 栄一
O N E P I E C E	1~7	尾 田 栄宏
シャーマンキング	1~2	武 井 宏
封 神 演 義	1~14	藤 崎 和
遊 ☆ 戯 ☆ 王	1~12	高 橋 正
I's く ア イ ズ	1~9	桂 島 光
世紀末リーダー伝たけしノ	1~7	島 袋 磨
人形草紙あやつり左近	1~4	写 楽 磨
M I N D A S S A S S I N	1~5	かず はじめ
明稜帝梧桐勢十郎	1~6	かず はじめ
W I L D H A L F	1~16	浅 美 裕
R O O K I E S	1~5	森 田 さのり
H U N T E R × H U N T E R	1~4	冨 樫 大輔
ホ イ ッ ス ル /	1~5	樋 口 ひろ
ぼくは少年探偵ダン!!	1~2	ガ 田 中 加奈
身海魚-SHINKAIGYO-		柴 山 弘
ライバル 番外編	1~2	柴 山 弘
爆骨少女ギリギリぷりん	1~6	浅 田 弘
I'll ~ ア イ ル ~	1~6	な か い ま
わたるがびゅんノ	1~46	七三 太朗・高橋
イ レ ブ ン	1~40	八 木 教広
エンジェル伝説	1~13	今 野 直樹
ダブル・ハード	1~17	梶 研 吾・岡村
宇 強 の 大 空	1~7	林 崎 文 博
つきあってよノ五月ちゃん	1~5	林 崎 文 博
ドリームメイカーズ列伝	1~2	九 十 森 かふみ
Mr.Clise(ミスタークリス)Part 1~2		秋 本 治
こちら葛飾区亀有公園前派出所	1~113	秋 本 治
鳥 山 明 ○ 作 劇 場	1~3	鳥 山 明
貯金戦士キャッシュマン	1	鳥 山 明・中鶴
花さか天使テンテンくん	1~9	小 栗 かず
快傑 蒸気探偵団	1~6	麻 宮 騎 亜
風のシモン	1~2	坂 口 い ち
自由人 H E R O	1~12	柴 田 亜 美
G O D A G U N	1~5	片 倉 M・政
サイド ボ ー ン	1~2	三 条 陸・林崎
B - D A S H	1~3	松 枝 尚 文
流星超人ズバーン	1~2	黒 岩 よ しひろ
グレート爆走野郎A G A I N	1	雄 介 淳
ショッキングボーイEノ		治 虫
手塚治虫THE BEST		
ハガキ戦士ジャンプ団		



★各巻とも好評発売中!!





9 784088 872698



7 900390 6

9 784088 872698-7

9 ¥390E

定価410円

本体390円

雑誌 43001-98

ジャンプ・コミックス



よう

**楊**

戦救出のため、金鰲島内部へ侵入した太公望らの

前に現れたぬいぐるみ(?)は、空間を自在に操る

金鰲十天君が一人・孫天君だった!! 「遊び」が勝負のオ

モチャの世界『化血陣』でクイズに負けた蟬玉が人形に!?